

山形県の奈良・平安時代における信仰関連遺物集成

— 仏教関連遺物を中心にして —

渋谷 純子 高桑 弘美

1 はじめに

2003年11月、帝京大学山梨文化財研究所において、古代考古学フォーラム「古代の社会と環境 遺跡の中のcami・ホトケ」（以後山梨フォーラム）が開催された。その際、筆者らは、紙上報告の機会を得て、山形県のcami・ホトケ関連遺構・遺物を報告した（高桑ほか2003）。しかし、その内容は多様であり、データの集成と概観を提示することに止まった。遺跡にみえるcami・ホトケは、山形県内においても複雑な様相を呈し、その分析と検討は、継続して、積み重ねていく必要性を痛感した。ここでは、その手始めとして、ホトケ関連遺物として集成した資料について、再整理し収録したい。

2 研究略史—仏教信仰—

仏教信仰・神祇信仰の体系的な考古学研究は、1970年代に始まる（大場1975～1981・石田1975～1977）。

情報の蓄積が著しかった1980年代には、小規模な仏堂を「村落内寺院」と呼称し、寺院施設が村落内に存在するとの考えが示された（須田1985）。一方、奈良時代の都城の祭祀研究が行われ、律令祭祀研究が進展したのも、時期をほぼ一にしたこの頃である（金子1985ほか）。また、出土文字資料から、遺跡の中の信仰を解明する重要な論考が相次いで提示された（平川2000ほか）。

仏教関連遺跡・遺物については、1990年代に地域ごとの集成が進められた。また、立正大学考古学会は、全国47都道府県にわたって、古代・中世の仏教関連遺物集成を行った（立正大学考古学会1999）。集成研究をもとに、遺構の類型化（笹生1994ほか）や遺物各論（佐野1998ほか）、仏教文化の受容の在り方（宮田1996）等が論じられた。これら信仰関連の文献史学・考古学的研究の研究史・現状・課題については、宮瀧2000・平野2003に詳しくまとめられている。

先に記した山梨フォーラムでは、東国地域を中心に、

集落遺跡や官衙遺跡などから抽出された仏教信仰・神祇信仰に関する考古学的データが検討された。さらに文献史学の研究成果もあわせて検討された。

東北地方では、陸奥国南部（菅原2002）、福島県（宮田2003）、北上盆地（沼山1999）を対象とした仏教（宗教）関連遺跡・遺物の研究が進められ、宗教の受容の様相や地域性が論じられている。

山形県内の研究状況は、先にまとめた（高桑ほか2003）。また、その作業の最中、県立うきたむ考古資料館で開催された第5回考古学セミナーにおいて、川崎利夫氏が「平安仏教の考古学—出羽南部を中心として—」と題して講演された（川崎2003）。

3 仏教信仰関連遺物

信仰関連遺物の集成は、先行研究の古代から考古学を考える会2000・千葉県文化財センター1997・石川考古学研究会1997ほかを参考とした。信仰関連遺物の範囲特定には大変苦慮したが、上記研究で扱われた遺物を基本に据え、それに追加するかたちで進めた。集成遺物の時期は、8世紀～11世紀を対象とした。既に集成研究が行われている出土文字資料（山形県の古代文字資料を考える会1998・水戸1998ほか）・硯（佐藤2000）については、集成対象外とした。先行研究を参照願いたい。なお、集成は、報告書で図化されているものに止まっている。

遺物は、鉢形土器・稜椀・水瓶・壺G・小型壺類・香炉・高坏・托・瓦塔を仏教信仰関連遺物と選定した¹⁾。瓦塔は現在のところ確認されていない。明らかに仏教信仰に関連する土製品・金属製品は、その他として図を掲載する。文字資料は、関連するものを本文中で取り上げた。

4 各遺物の様相

仏教考古学で仏具は、仏教用具全体を包括するものとし、荘厳具・供養具・梵音具・僧具・密教法具・その他

に分類されている(石田1976)。供養具として、鉢形土器・稜椀・水瓶・壺G・小型壺類・香炉・高坏・托がある。その一部は、僧具・密教法具にも該当する。仏供養は、燈・華・香が基本となるが、今回の集成では、燈に該当する特定の器種が確認されていない。油煙の付着した坏・皿類の出土例が多数あり、燈の使用痕跡とみられる。荘厳具・梵音具に特定できる器種も確認できない。

ここでは、抽出した遺物の仏具としての概要を述べ、その出土状況をまとめる。

鉢形土器(仏鉢形土器・鉄鉢形土器・瓦鉢)²⁾

三衣一鉢といわれ、袈裟3枚と鉢1つが僧侶の最低持物である。僧侶は鉢を常に所持し、托鉢や食器等に用いる。『十誦律第五十六』には、「鉢の法とは仏は二種の鉢を畜ふるを聴す、瓦鉢と鉄鉢なり。八種の鉢は畜ふべからず、金鉢・銀鉢・瑠璃鉢・摩尼鉢・銅鉢・白鐵鉢・木鉢・石鉢なり、これを鉢法と名づく」とあり金・銀・瑠璃・摩尼・銅・白鐵・木・石鉢を用いることを禁じ、鉄・瓦鉢の使用を説いている(中野1976・岡本2003)。石鉢・金鉢・銀鉢は佛菩薩用とされる(石田1977)。『四分律第九』には、「鉢とは六種あり、鉄鉢、蘇摩国鉢、烏伽羅国鉢、黒鉢、赤鉢なり、大要は二種あり、鉄鉢と泥鉢なり」と記されている(中野1976)。また、法隆寺や西大寺の『伽藍縁起并流記資材帳』では、仏や僧への供養に用いた飲食具の筆頭に鉢類が挙げられ、仏具中でも重要な位置にあったことが窺える(久保2003)。

肩が張り、口がすぼまり、底部が尖り気味の丸底状になる独特の器形のものは、壇山窯跡で確認されている。しかし、その供給先は判然としない。壇山窯跡は、仏堂を併設する官衙と考えられる太夫小屋1遺跡の南3kmに位置する。両遺跡が何らかの関係を有することは、既に指摘されている(山形埋文2001)。

壇山窯跡以外の資料は、鉢形土器の可能性の高い資料として抽出したものである。須恵器と土師器、黒色土器がある。黒色土器は寸法も多様であり、抽出もれの可能性がある一方、深手のものは煮炊具とみられるものもある。使用痕跡を含めた再検討が必要である。

僧侶の鉢は、私有物であるとともに、五綴といわれ、5度まで修理して用いよと教えられている(石田1977)。別の器種による代用も考えにくく、僧侶活動の指標となる資料とみられるが、山形県内の出土数は少なく、関東

地域とは明らかに異なる様相である。

稜椀

体部下半に稜を持つ有台坏である。体部下半に回転ケズリ調整を施し、稜を強調するものもある。その形態から、供養具の金属器を模倣した土器と考えられる。正倉院宝物の佐波理鏡にも、その祖形がみられる。

稜椀は、地域で出土状況に差が認められる。米沢盆地を中心に分布し、北上するにつれてその出土数は減少する。置賜地方では、有台坏の多くを稜椀の形態が占め、稜椀が一般の供膳具として位置づけられていたと考えられる。一方、庄内地方では出土点数が限られ、仏具として珍重されていたとみられる。種別は、須恵器が大半であり、西谷地遺跡・笹原遺跡で黒色土器が出土している³⁾。

出土する時期は、8世紀後半にはほぼ限定される。須恵器稜椀は、米沢市大明神窯跡や寒河江市平野山窯跡等での生産が確認されている。

水瓶(浄瓶を含む)

元来、僧侶の日常品の一つであったものが、仏前に閼伽(功德水)を供えるための容器として用いられたと考えられる。『南海寄帰内法伝』(第一)によれば、「水は浄(飲料水)と触(手洗いなどに用いる水)がある。したがって二種の水瓶があり、浄水は土製の瓶、触水は銅や鉄製の瓶に入れる。……」と記されている。水瓶には2種あり、1つは浄瓶、1つは触瓶といわれた(光森1976・清水1999ほか)。

水瓶は、胴の形や注口によって、形式に分けられている。『南海寄帰内法伝』に記される浄瓶は、口が2つの仙蓋形水瓶と呼ばれるものである。頸部は細く、上口は鐙の付く尖台という飲み口、胴部上半には上向きの口を有する。太夫小屋遺跡(177)・山形元屋敷遺跡(174)・桜林興野遺跡(166)に出土例がある。頸が長く、胴部に注口を持たず、脚を付けたものは、王子形水瓶と呼ばれる。胴の形は玉子形と下撫形がある(光森1976)。富山2遺跡に出土例(173)がある。また、肩が張り、頸の短い特異な形が平野山窯跡12地点から出土している(169・170)。

集成は、長頸壺の抽出を行い、その中で口縁部～頸部の形状が伝世品に類似するものと胴部注口を有するものを水瓶とした。しかし、長頸壺からの抽出は、甚だ不十分であり、再考が必要である。山海窯跡群出土資料

(167) は、下膨れの長頸壺で、花瓶の可能性はある。また、黒色土器の壺類の出土資料が目立つ。素材の特徴からも、貯蔵具としては考えにくく、供養具などの用途が考えられる。いずれにしても、長頸壺の形態・寸法・種別（須恵器・土師器・黒色土器・灰釉陶器など）については、検討が必要である。

壺G

花瓶は、密教用具で「けびょう」と読んで「かびん」と区別される。花を挿して仏前に供える、華供養具の一つである。花瓶には、広口で頸が狭く胴に膨らみを持ち腰の細い台を付した「壺」の字に似たもの、細長い頸で、下膨れをした胴と低い高台からなる徳利形のもの、口が広く両耳をつけ、胴などに文様を鑄出し、中国銅器に似たものなどがある（中野1976）。伝世品には、水瓶との識別が困難なものもある。花瓶もまた、長頸壺からの抽出が必要な遺物である。ここでは、出土遺物の中で、花瓶として積極的に研究されている壺Gを、花瓶として扱い集成した。

壺Gは、堅魚煮汁の運搬容器（巽1991）や軍隊携帯の水筒（山中1997）等の機能・用途が論じられている。一方、主として十一面観音像の左手の持物に壺Gの類似形態のあることから、壺Gが仏具として使用された花瓶ではないかとの考えが示されている（佐野1998）。壺Gの生産時期は、8世紀後半から9世紀前半に特定される。

壺Gは、山形県内で4遺跡からの出土が確認されている。静岡県藤枝市助宗窯産の可能性が指摘されている⁴⁾。出土点数の限られた搬入品であり、当地域においては、特異な性格を有していたと考えられる。太夫小屋1遺跡・三条遺跡など、官衙関連遺跡および墨書土器が多量に出土する遺跡からの出土がある。また、後田遺跡出土の壺Gには、液体の付着痕がある。いずれにせよ、仏具としての機能については、出土状況を含め、今後の検討を要する。

小型品

薬師如来は、小壺や鉢を手を持つ。その小壺や鉢の形態がコピーされ須恵器として焼かれることにより、仏の手から離れ、巷の娑婆世界で仏具として使われるようになる（佐野1998）。小型品は、仏の手から、人々の祈りの空間に移ってきた器としてとらえ、供養具や密教法具の可能性を想定して集成を行った。

供膳具・貯蔵具で、成形技法・焼成技法は変化せず、寸法が小型化したものを小型品として集成した。供膳具は口径5cm以下、貯蔵具は器高10cm以下とした。器種は、蓋・壺・鉢などである。壺は短頸壺と長頸壺に分ける。小型品は、須恵器・土師器・黒色土器がある。須恵器は焼成が良く、黒色土器は丁寧なミガキが施されるなど優品が多い。

香炉

香を身に塗ったり、香を燻して臭気を除くのは、古来、酷暑のインドでは一般的に使用されており、この習俗が仏供養に取り入れられた。香炉は、香を燻ずる器である。居香炉（置香炉）・柄香炉・釣香炉・象香炉に大別される（中野1976）。密教に用いられる居香炉は、火舎と呼ばれる。火舎香炉は、幅広い縁を持つ炉に、獸脚などの三脚が付き、煙孔を持つ蓋が伴う。

庄内地方では、緑釉陶器・越州窯産磁器の逸品が出土している。他の地域では、須恵器・土師器・黒色土器が出土している。香炉・香炉蓋は、定型のものと、独創的なものがある。

高坏

供養具の一つと考えられる（中野1976）。脚の付く坏形の器である。献物や他の仏具を乗せる用途である。また、密教法具の飯食器に類似した形態がある。

破片での出土が多い。また、破片のため、香炉や花瓶の可能性が否定できない資料も含まれている。的場遺跡の大型高坏（酸化炎焼成）は、坏部に黒色に汚れた被熱痕跡が認められた⁵⁾。高坏に分類されるものの中に、香炉や燈台として用いられたものがあることが分かる。

盤

高坏同様の用途を想定して集成に加えた。獸脚状の三足の付く資料が沼田遺跡から出土している。高瀬山遺跡SAの破片資料は、高坏の坏部の可能性がある。

耳皿

『大安寺縁起并流記資財長』や『法隆寺縁起并流記資財長』の記事から、奈良時代には、鉢・多羅・鉢・匙・箸が一具として供養具を構成していたことが窺える（中野1976）。

耳皿は、箸置き用途が想定され、出土数が限られるため集成に加えた。黒色土器の優品が多数ある。東田遺跡や中袋遺跡では、黒色土器小型壺類や碗類とのセット

関係が窺える。

托

丸底の鉢の底を支える鉢支や、密教法具の六器の、高台付小椀をのせる台皿などが考えられる。托の材質は、乗る器と同質と想定されるが、今回の集成では、その組み合わせが分かる資料は確認されていない。

その他

仏教信仰との関連が伺える資料を掲載する。

土製品

北目長田遺跡から塔状土製品、手蔵田2遺跡から人形土製品、平野山窯跡群12地点ほかから土鈴が出土した⁶⁾。

金属製品

境興野遺跡から、瑞花鳳凰八稜鏡が出土した。八稜鏡は、日常用鏡として用いられたほかに、寺院への奉納や鎮壇具として埋納されたものも多く、宗教的意味合いも強い(久保2003)。

出土文字資料

道伝遺跡から経典の記された木簡が出土している。

墨書土器は、的場遺跡「大寺」、浮橋遺跡「寺」、二十六木遺跡「寺」、横山C遺跡「佛」、東田遺跡「卍」、俵田遺跡「卍」などがある。県内では、4000点を越える墨書土器が出土しているが、直接仏教関連の文字が記されている資料は少ない。

刻書土器は、的場遺跡から墨書土器と同文字「大寺」が出土している。

4 他地域との比較

ここでは、関東地域との比較を行う。関東地域では、当地域同様、供養具と僧具の出土資料が多い。器種の共通も多く、時期的な変遷や仏具セットを追求できる可能性が高い。また、水瓶・壺G・小型壺類・香炉・高坏・托は、形態・寸法に類似するものが多く、地域を越えた規格の存在が想定される。一方、鉢形土器・稜椀は、地域性が現れた遺物と言える。当地域では、丸底で口縁部がすばまった鉢形土器の出土数は少ない。大浦B遺跡にある平底の鉢が、仏具として使用されていた可能性がある⁷⁾。

当地域では、現在のところ、瓦塔の出土例が確認されていない。信仰形態の違いを示すのか、木製など異なる材質を利用していたのか、不明である。

5 時期的な変遷

山形県内では、8世紀前半の様相がほとんど分かっていない。8世紀中葉から遺跡数が急激に増加し、8世紀末から9世紀第3四半期にその数はピークを迎え、10世紀に入り急激に減少する。仏教信仰関連遺物の出土は遺跡の状況に連動する。

出土状況や遺構の検討はこれからであるが、太夫小屋1遺跡や三条遺跡などでは、仏具が遺跡の出現期に属する。遺跡の出現とほぼ同時に、仏教に関連する活動が行われていた遺跡が多いという印象を持つ。また、壇山窯跡や平野山窯跡群などから、8世紀後半には仏教信仰関連遺物の生産が開始されており、供給が一定量保たれていたことが分かる。

時期的な遺物の変遷としては、壺類の須恵器から黒色土器への変化や寸法の縮小などが見受けられる。

6 仏具セット抽出の試み

ここでは、平野山窯跡群との関連が考えられる集落遺跡における仏教信仰関連遺物の出土例を取り上げる。

寒河江市富山2遺跡

遺跡の所在する寒河江市は、出羽国が和銅5年(712年)建置されて以来最上郡に属し、仁和2年以降最上郡に属する。遺跡は、山形盆地西縁部の小丘陵、平野山(標高274m)から北西に連なる富山(標高265m)に位置する。平野山南東麓には、8世紀中葉から9世紀末に操業した平野山古窯跡群が展開する。富山2遺跡は、平野山古窯跡群から北西に約1km離れた丘陵谷間の小さな平坦地に立地する。山間部の地滑りが起きやすい不安定な地盤に立地する点や、平野山窯跡群との位置関係から、窯操業に規制された須恵器工人に関係する集落と報告されている(山形埋文1996)。堅穴建物8棟、土坑、畝状遺構が検出されている。時期は8世紀後半から9世紀後半である。

S T38堅穴建物床面からは、猿投産原始灰釉陶器水瓶が出土した。猿投窯編年折戸10式期で、生産年代は西暦800年前後が考えられている。水瓶は、優品であり、仏具としての用途以外の意味も否定できない。S T38覆土から、須恵器椀(香炉?)・須恵器鉢・須恵器短頸壺、床面から黒色土器椀・黒色土器把手(把手付水瓶?)・木製品

櫛・刀子が出土した。周辺のグリッドからは、黒色土器壺・鉢・高坏・金銅製飾り具が出土している。遺物は、必ずしも同時期とは言えないが、仏教信仰に関連した遺物が、まとまった状態で出土している。寺院と考えられる遺構は検出されていない。須恵器工人が営んだ、堅穴建物で構成された集落内での、信仰の在り方を示す良好な資料である。

寒河江市木ノ沢楯跡

先に述べた平野山窯跡群西に隣接する。平野山窯跡群の一部と据えられる遺跡である。平地との比高差は約60mである。その立地から、一時的に使用する作業場的な性格の集落と考えられ、富山2遺跡同様、窯業に従事した工人集団の集落と報告されている(山形埋文1999)。堅穴建物5棟・土坑・溝などが検出され、8世紀第3四半期～9世紀第3四半期の時期である。

S T 151堅穴建物から、赤焼土器小型壺・赤焼土器香炉、周辺のグリッドからは、須恵器小型短頸壺・須恵器小型長頸壺・須恵器高坏(香炉?)・赤焼土器香炉・須恵器鉢が出土している。

以上のように、富山2遺跡と木ノ沢楯跡からは、多数の仏教信仰関連遺物が出土している。その内容には、香炉・高坏・鉢形土器・小型壺類など、共通する器種が認められる。平野山窯跡群の工人集団に関連する集落とされる両遺跡において、共通する仏教信仰関連遺物が出土することは、何を物語るのだろうか。富山2遺跡と木ノ沢楯跡から出土した、供養具・僧具とみられる仏教信仰関連遺物香炉・高坏・鉢形土器・小型壺類を、平野山窯跡群に関連する工人集団が所有した仏具セットの一部として考えてみたい。

川西町太夫小屋1遺跡の仏具との比較

富山2遺跡と木ノ沢楯跡から出土した仏教信仰関連遺物は、川西町太夫小屋1遺跡から出土した仏具との器種の類似性が認められる。川西町太夫小屋1遺跡は、仏堂を併設する官衙関連遺跡である(山形埋文2001)。太夫小屋1遺跡における仏具は、当地域における一つの指標になるとみられる(高桑ほか2003)⁸⁾。太夫小屋1遺跡では、香炉、華供養具や飲食供養具としての瓶(壺)類、燈としての坏・皿類(油煙付着)が出土している。これらは、仏具の基本3種である。これに献物台としての高坏が加わる。

平野山窯跡群に関連する工人集団が所有した仏具セットと、太夫小屋1遺跡出土の仏具の共通性から、太夫小屋1遺跡で行われていた仏教信仰に類似したものが、富山2遺跡や木ノ沢楯跡でも行われていたことが想定できる。出土遺物から、官衙関連遺跡と窯業関連遺跡に共通した信仰の存在を描き出せる事例と考えられる。

7 おわりに

本論では、仏教信仰関連遺物を積極的に抽出し、集成した資料の整理を行った。仏教信仰関連遺物の範囲選定には、集成作業過程で、何度も迷い、行き来を繰り返した。考古学資料から、過去に精神文化に迫る切り口が見つからず、集成の無意味さを常感じての作業であった。しかし、仏教信仰の活動を示す遺物は確実にある。その内容は他地域との比較が可能であると同時に、類似した仏具セットを有する遺跡があることも確認できた。比較検討が可能な状態となり、ようやく研究が緒になったと言える。

仏教信仰・神祇信仰関連の情報が蓄積する千葉県 of 考古資料を中心とした分析から、「仏教・道教・神道それぞれのアイデンティティを保ちながらも、末端の部分になると、それぞれ融通しあって存在している」という実体が指摘されている(笹生2002)。山梨フォーラム資料からもわかるように、山形県内でも仏教信仰と神祇信仰関連の遺物が1つの遺跡から出土することは、決して珍しくはない。信仰関連遺物は、いろいろな信仰の場で使用されていたことが窺え、信仰の広がりや展開など、信仰の在り方は複雑である。信仰の実像に迫るには、遺物が示す信仰の場面の1つ1つを丁寧に紐解いていくしかない。今回は、仏教と言う側面から遺物の集成を行ったが、他種の信仰についても同様の手続きを進め、資料の解説を続けていく必要がある。

註

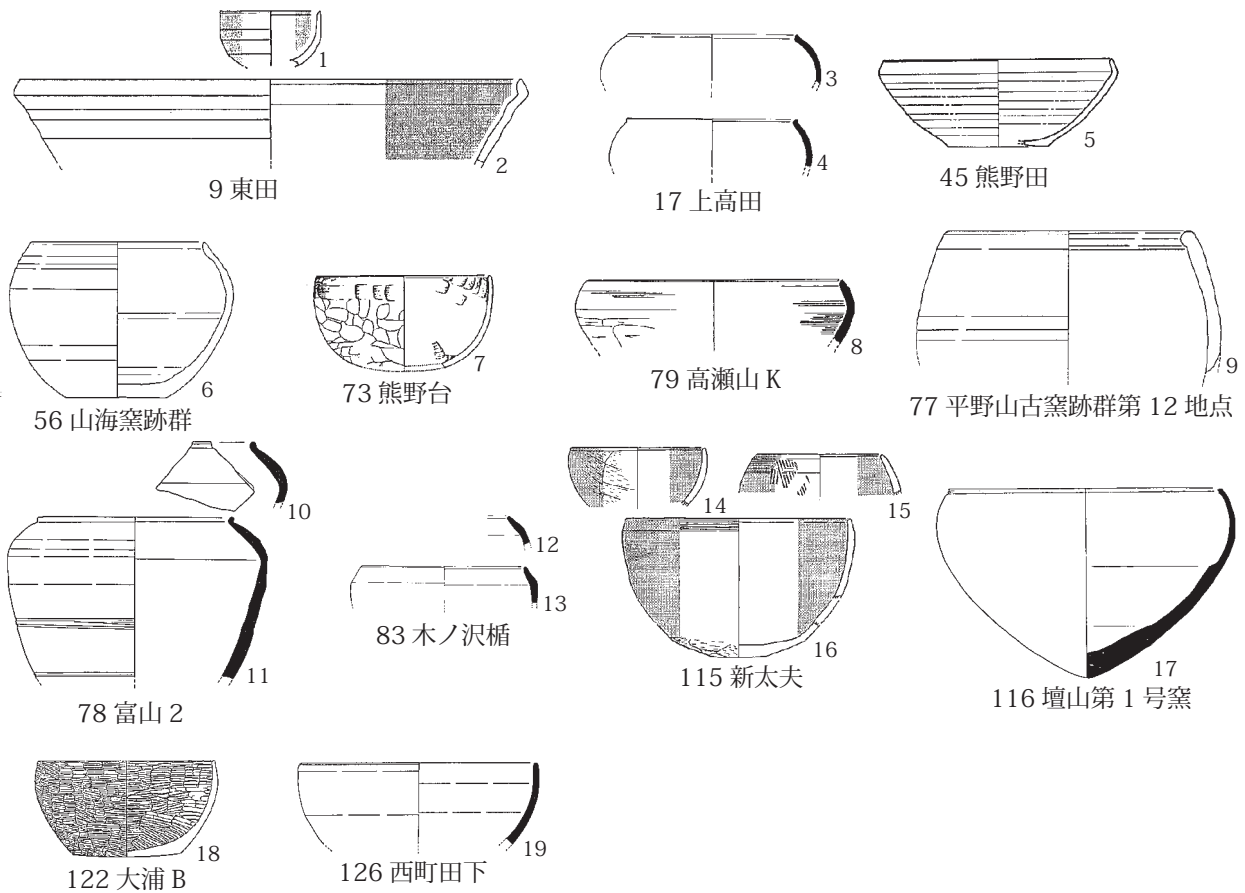
- 1) 仏具名と考古学の器種名が混在しており、個別の名称については、検討を要する。今回は、用途の検討を十分行えないため、集成作業上の便宜的な名称として扱いたい。
- 2) 鉄鉢形土器や仏鉢と呼ばれることが多い。しかし、勝又直人氏は、原始仏教教団が定めた戒律の規定から、教団設立当初から瓦鉢と鉄鉢の区別がなされていたことを指摘し、遺跡から出土する鉢については、「瓦鉢」が本来的な呼称であるとの考えを示している(勝又2002)。本論では、奈良東大寺の金銅鉢や正倉院の磁鉢等、伝世する鉢に形態が類似するという観点から、鉢形土器と呼称する。
高橋敏氏より、現在整理中の山形市馬洗場B遺跡より、須恵器鉢形土器が出土しているとのこと教示をいただいた。
- 3) 西谷地遺跡出土内面黒色処理の稜椀については、須恵器稜椀模倣品と考えられ、陸奥国から置賜・村山へと北上する伝播ルートが想定されている(山形埋文1996)
- 4) 山中章氏のご教示による。

- 財団法人山形県埋蔵文化財センター 2001『太夫小屋1・2・3遺跡発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財センター調査報告書第81集
- 5) 報告書近刊予定。伊藤邦弘氏・犬飼透氏・齋藤健氏のご教示による。
 - 6) 土鈴は、福島県内の出土状況から窯業と関連した祭祀遺物の可能性が指定されている(菅原2002)。
 - 7) 大浦B遺跡よりも、体部が開き器高が低い土師器鉢が山形県内には一定量あるが、今回の集成からは除いている。西谷地遺跡・三条遺跡・太夫小屋1遺跡などからは、黒色処理されたものが出土している。
 - 8) 山梨フォーラム資料作成後、太夫小屋1遺跡から、獣脚の可能性が高い火舎香炉脚370が出土していることを、高橋敏氏よりご教示いただいた。また、大坪遺跡388についても火舎香炉の可能性をご教示いただいた。

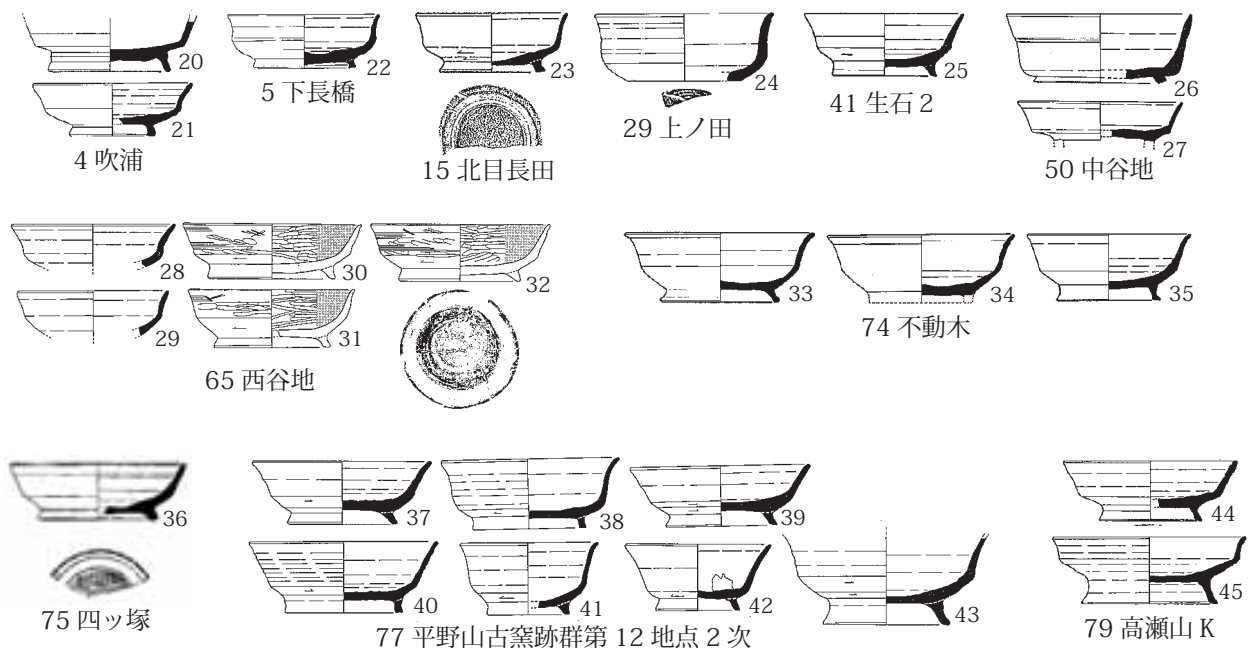
引用文献

- 石川考古学研究会 1997『石川考古学資料調査・集成事業報告書』
- 石田茂作 1976「総説」『新版仏教考古学講座 第五巻 仏具』雄山閣
- 石田茂作 1977『佛教考古学論攷 五 仏具編』株式会社思文閣
- 大場磐雄 1975～1981『神道考古学講座』全7巻 雄山閣
- 勝又直人 2002「静岡県における古代仏教遺物の様相」『静岡県埋蔵文化財調査研究所 研究紀要』第9号 財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
- 金子裕之 1985「平城京と祭場」『国立歴史博物館研究報告』第7集
- 川崎利夫 1999「平安仏教の考古学」第5期考古学セミナー(2003年度)平安時代の歴史と考古資料 山形県立うきたむ考古資料館
- 久保智康 2003「作品解説」『特別展覧会 金色のかざり 金属工芸にみる日本美』京都国立博物館
- 古代から考古学を考える会 2000『古代仏教系遺物集成・関東一考古学の新たな開拓を目指して』
- 笹生衛 1994「古代仏教信仰の一側面―房総における8・9世紀の事例を中心に―」『古代文化』第46巻12号
- 笹生衛 2002「東国古代集落内の仏教信仰と神祇信仰」『祭祀考古学』第3号 宗教考古学会
- 佐野五十三 1998「須恵器花瓶の成立―仏の手から娑婆の世界へ―」『静岡県考古学研究』
- 清水乞編 1999『仏具辞典』東京堂出版
- 菅原祥夫 2002「陸奥国南部の宗教遺物―福島県中通り・浜通り地方を中心として―」国士館大学考古学会「古代社会と宗教部会」発表資料
- 須田勉 1985「平安初期における村落内寺院の存在形態」『古代探叢』Ⅱ
- 高桑弘美・渋谷純子2003「山形県のカミ・ホトケ関連遺構・遺物」『古代考古学フォーラム 古代の社会と環境 遺跡の中のカミ・ホトケ 資料集』
- 千葉県文化財センター 1997『古代仏教遺物の諸問題―重要遺跡確認調査の成果と課題―』
- 中野政樹 1976「供養具」『新版仏教考古学講座 第五巻 仏具』雄山閣
- 沼山源喜治 1999「北上盆地の古代集落における仏神信仰(Ⅰ)」『北上市埋蔵文化財センター紀要』第1号
- 平川南 2000『墨書土器の研究』吉川弘文館
- 平野修 2003「考古学におけるカミ・ホトケ研究を考える―古代集落遺跡を中心に―」『帝京大学山梨文化財研究所報』第47号 帝京大学山梨文化財研究所
- 水戸弘美 1998「土器に墨書する意味を探る―山形県における奈良・平安時代の墨書土器出土状況の集成」『さあべい』第15号
- 宮田安志 1996「仏具出土集落の出現とその背景―古代東国を中心として―」『論集しのお考古―目黒吉明先生頌寿記念―』論集しのお考古刊行会
- 光森正士 1976「僧具」『新版仏教考古学講座 第五巻 仏具』雄山閣
- 宮瀧光二 2000「古代東国村落史研究の現在―村の中の仏教―」『帝京大学山梨文化財研究所報』第40号 帝京大学山梨文化財研究所
- 山形県の古代文字資料を考える会 1998『山形県内古代文字資料集成』
- (財)山形県埋蔵文化財センター 1996『西谷地遺跡第3次発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財センター調査報告書第33集
- (財)山形県埋蔵文化財センター 2001『太夫小屋1・2・3遺跡発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財センター調査報告書第81集
- 立正大学考古学会 1999『考古学論究』第5号

鉢形土器



稜椀



集成図 (1)~(8) S = 1 : 6

図 1 遺物集成図 (1)

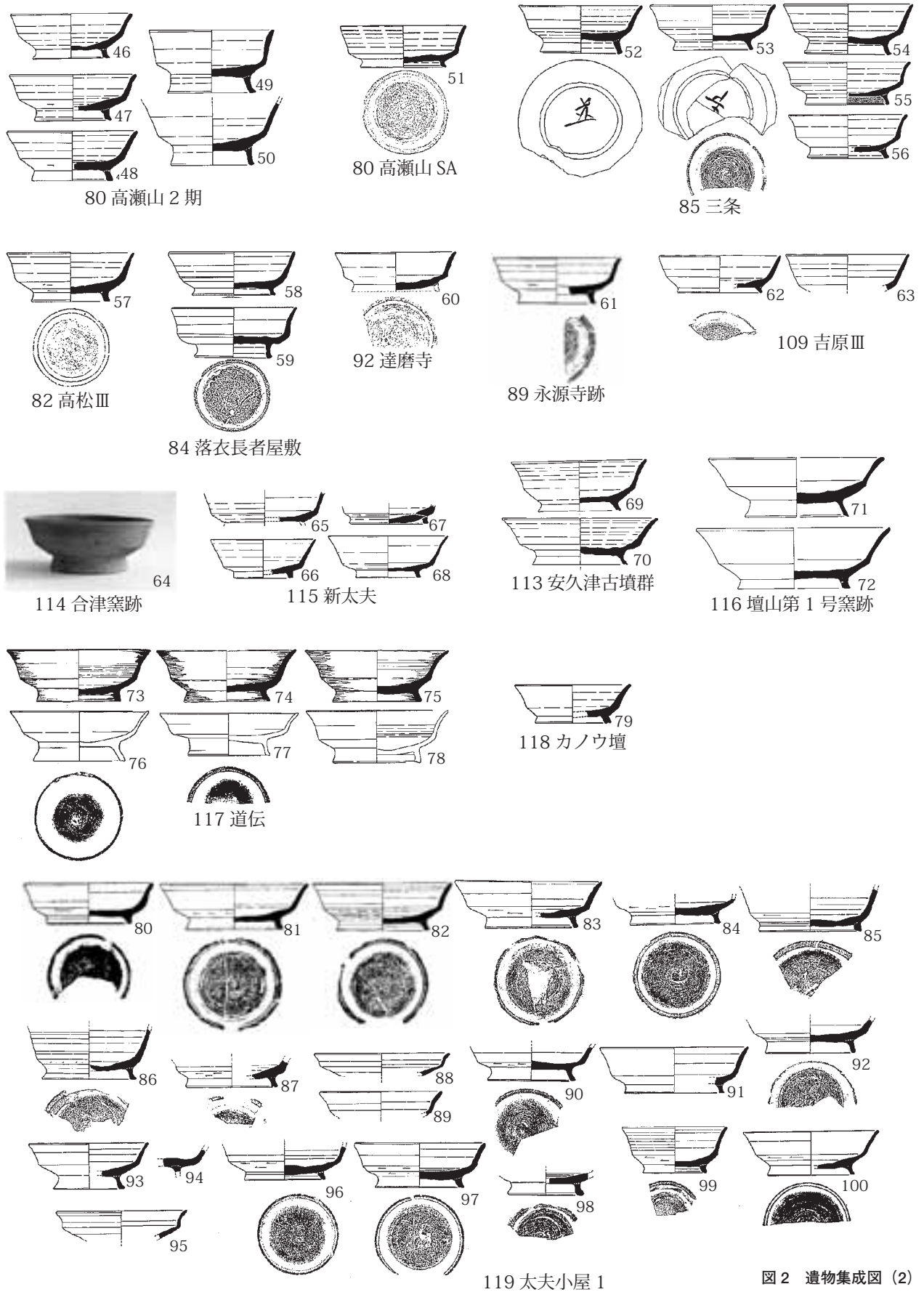


図 2 遺物集成図 (2)

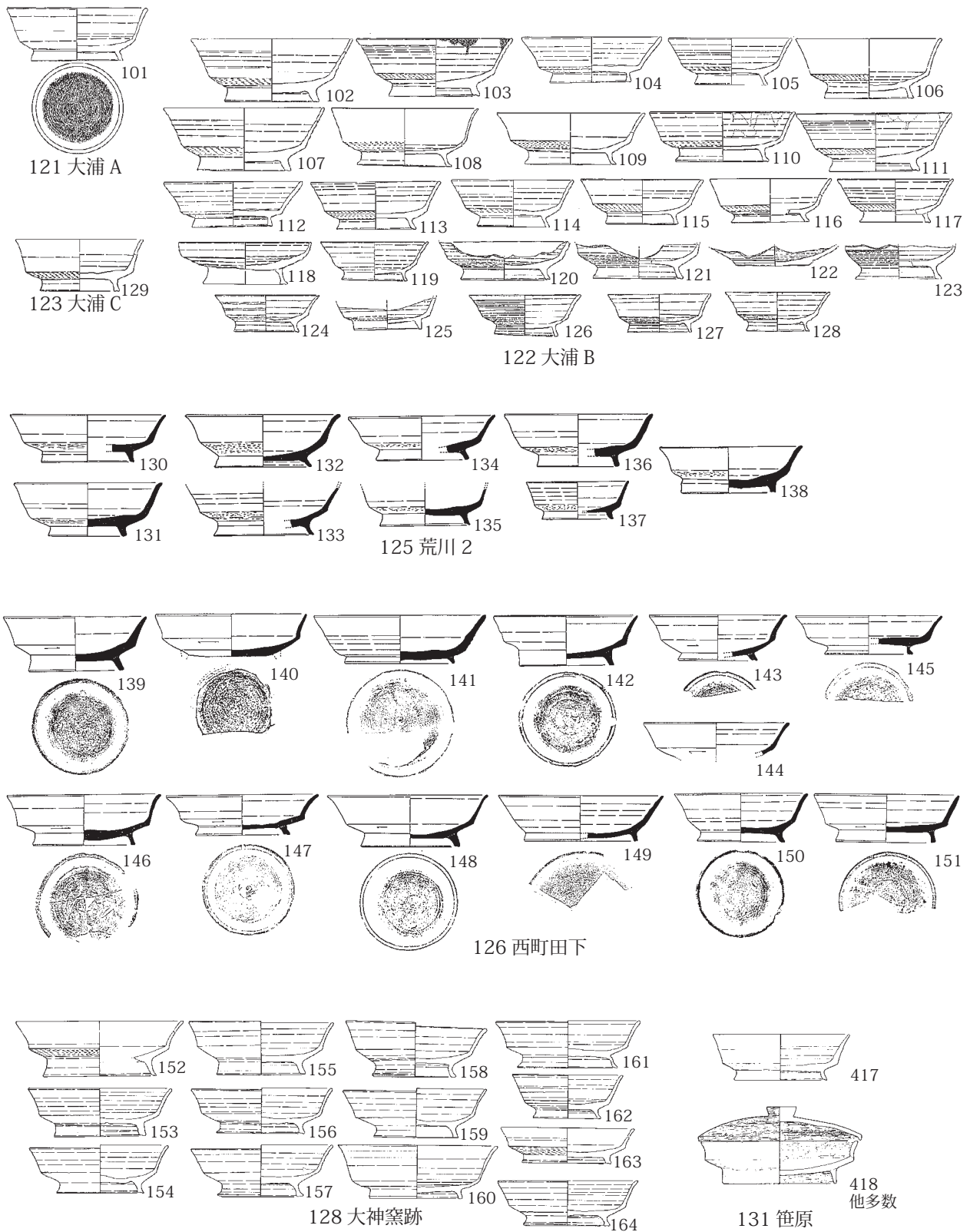
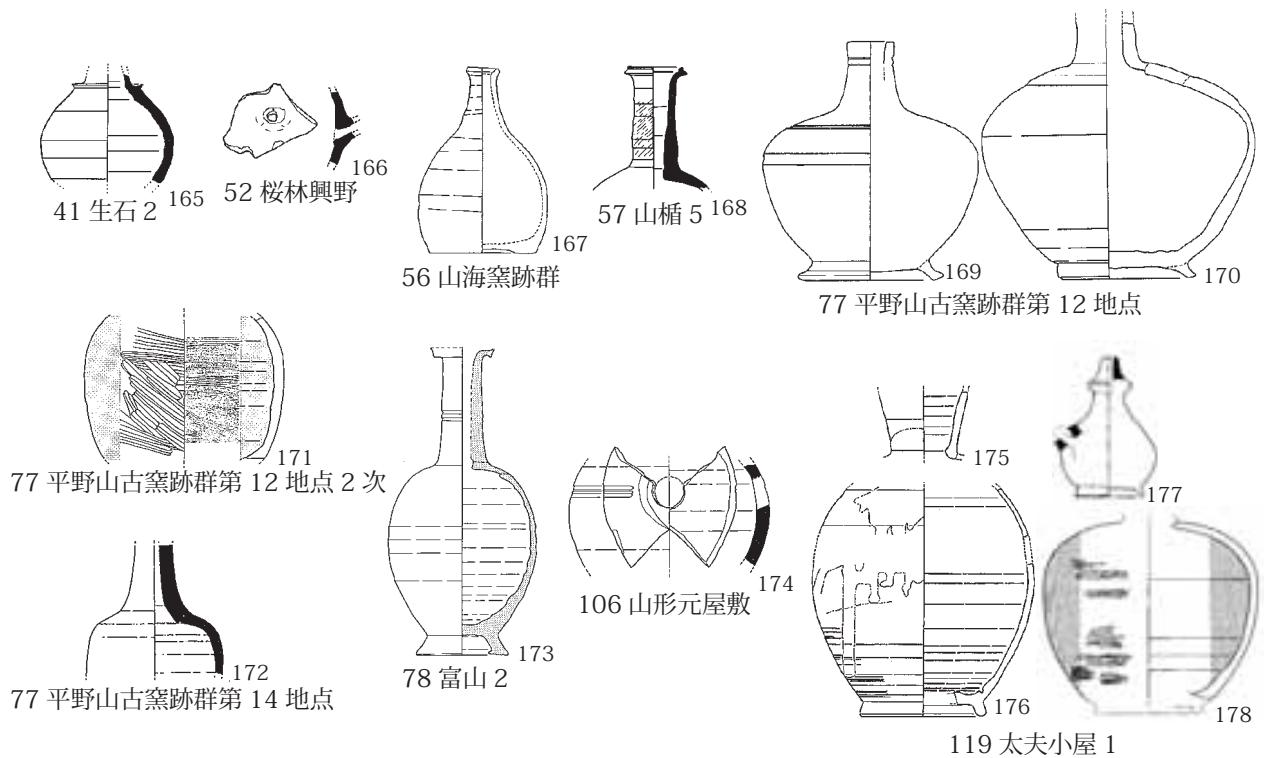
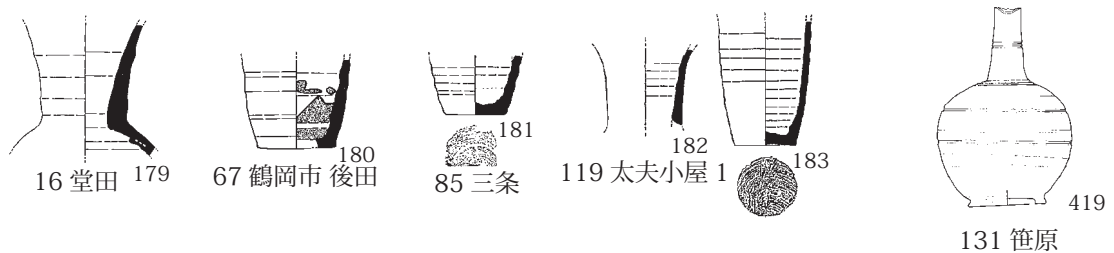


図3 遺物集成図(3)

水瓶



壺 G



小型長頸壺

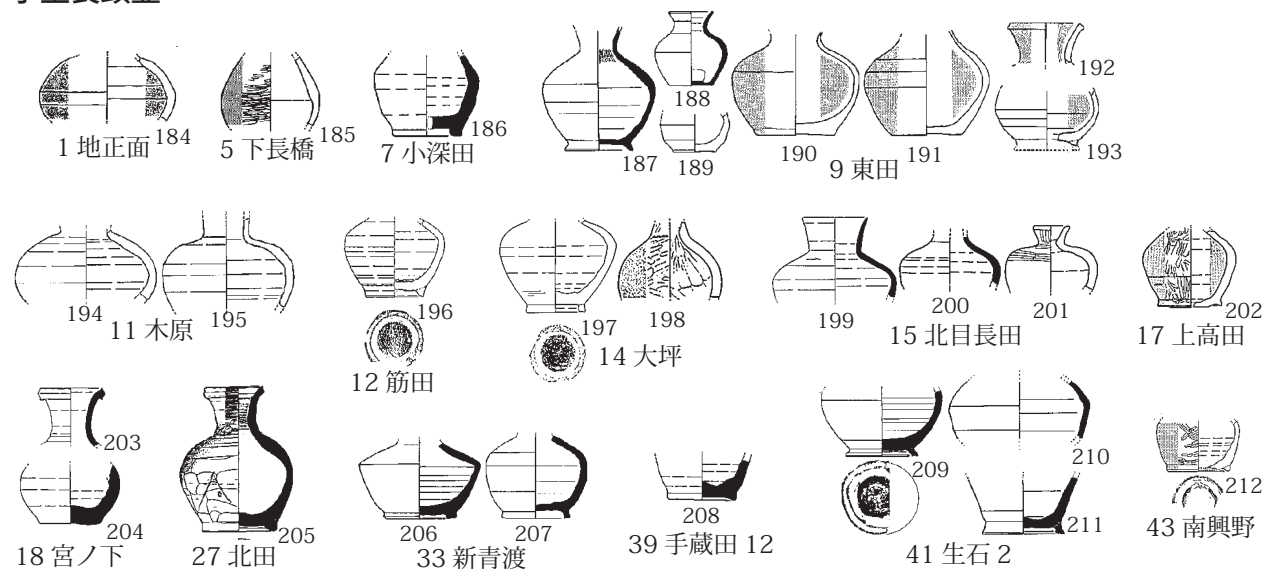
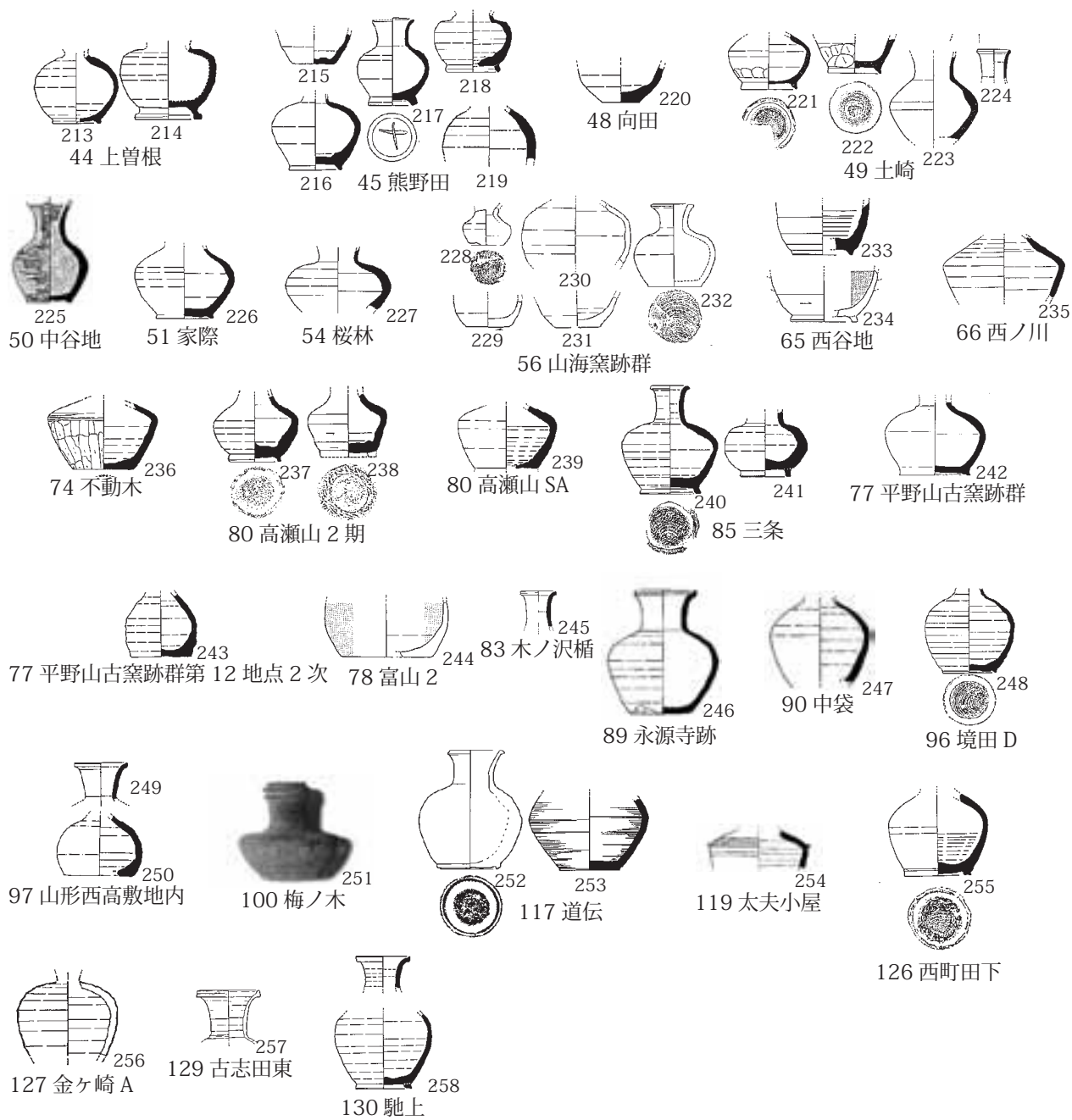


図 4 遺物集成図 (4)



小型短頸壺

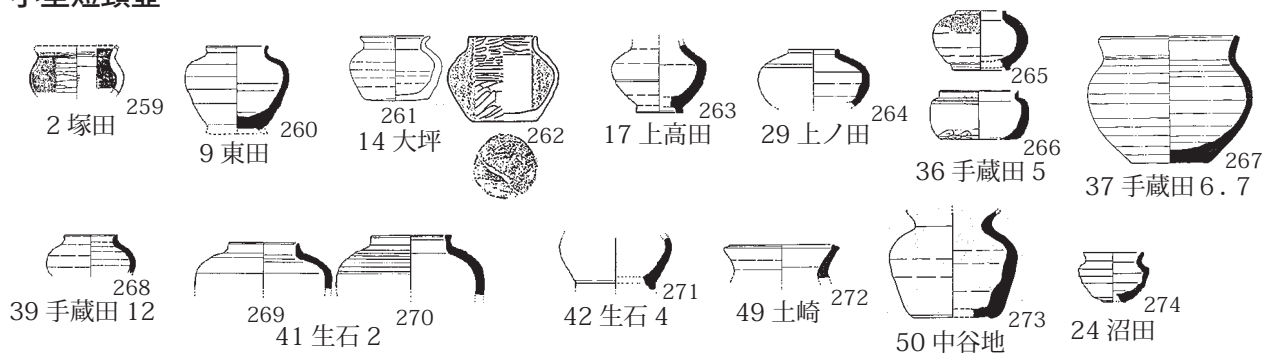
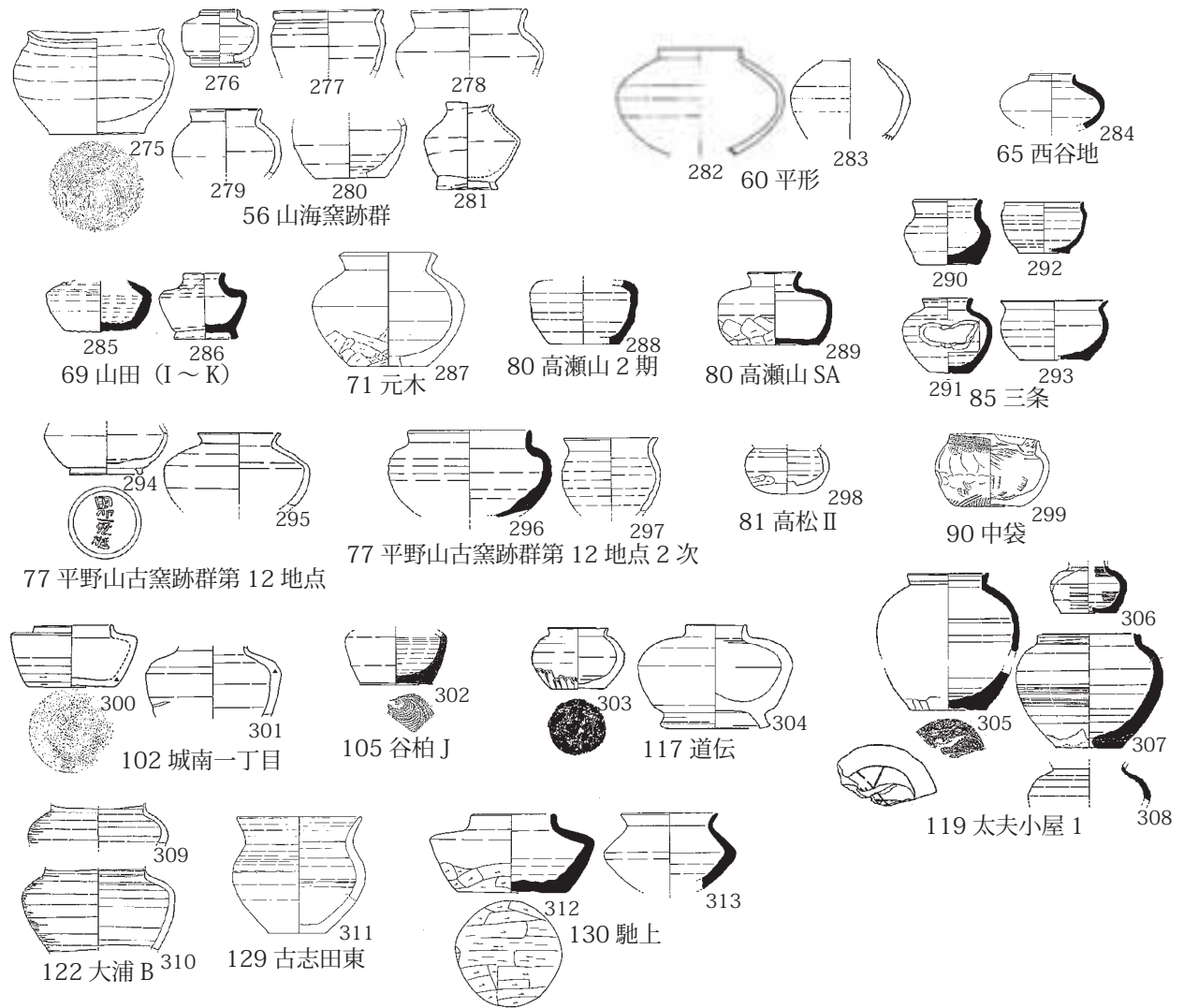
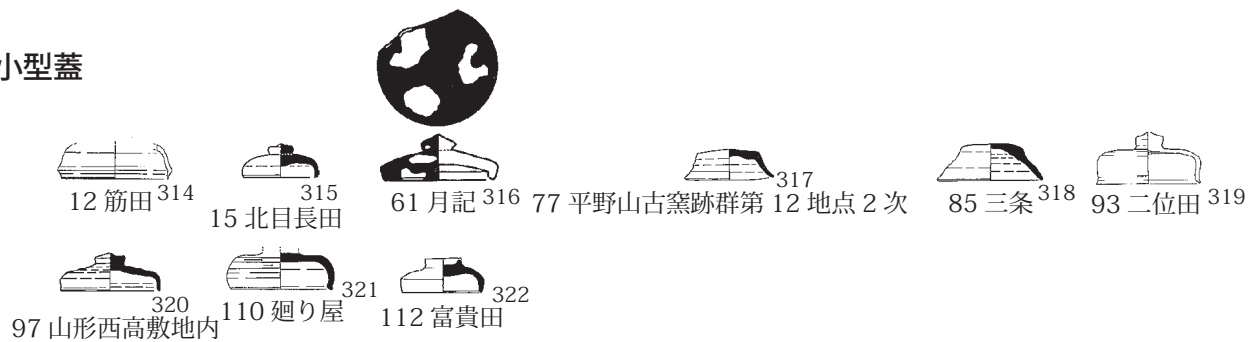


図 5 遺物集成図 (5)



小型蓋



小型品その他

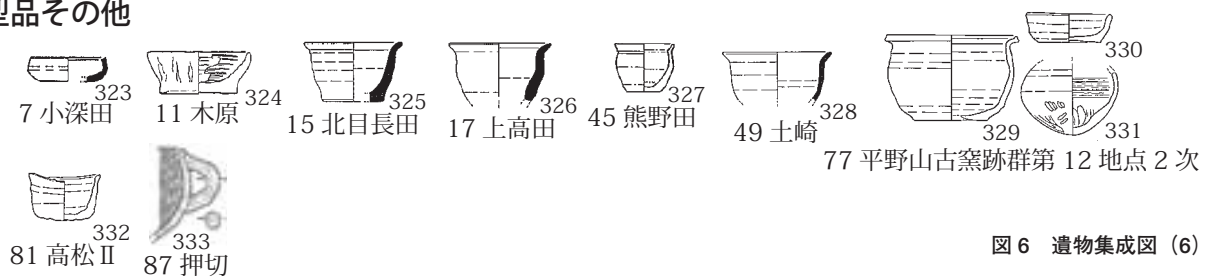
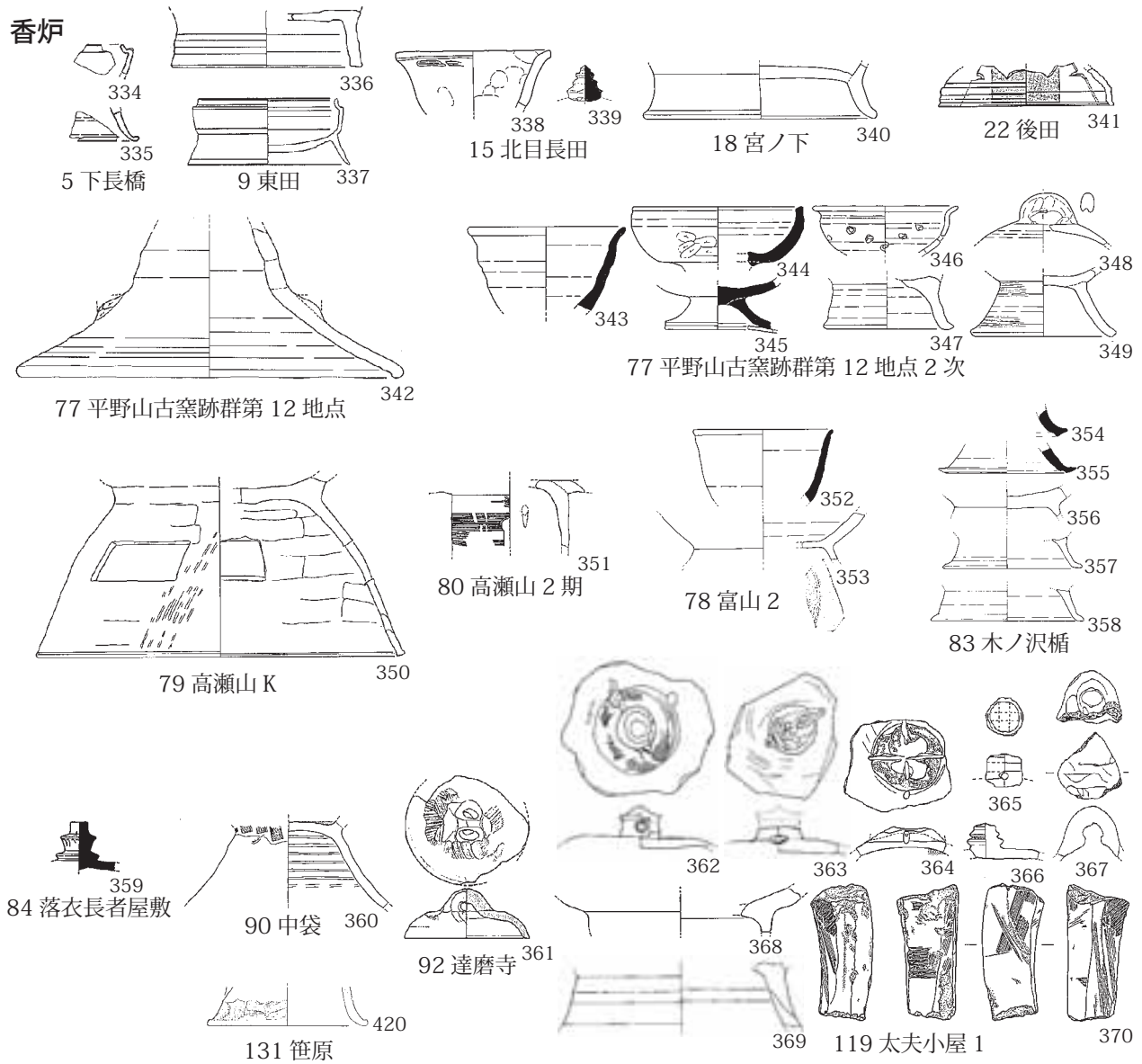


図 6 遺物集成図 (6)

香炉



高坏

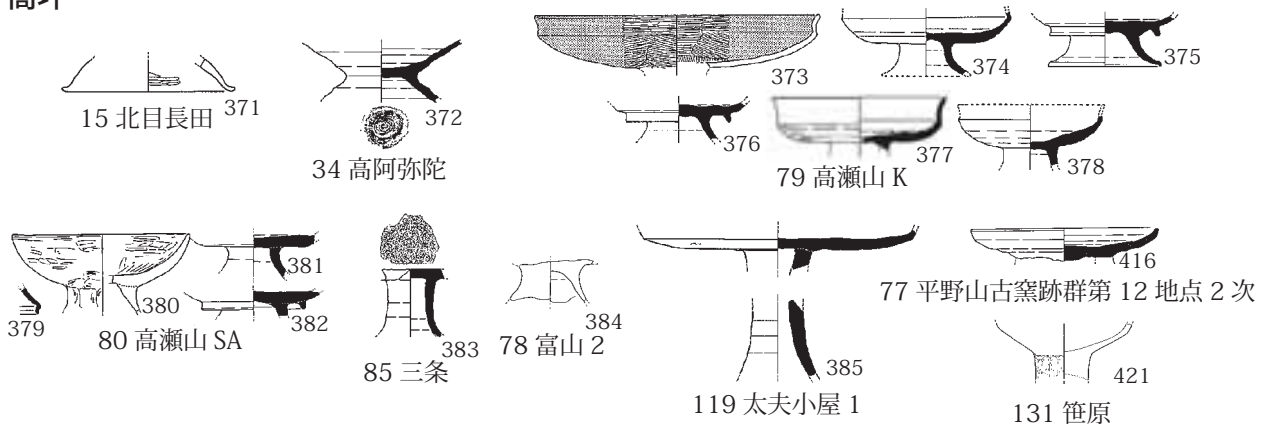
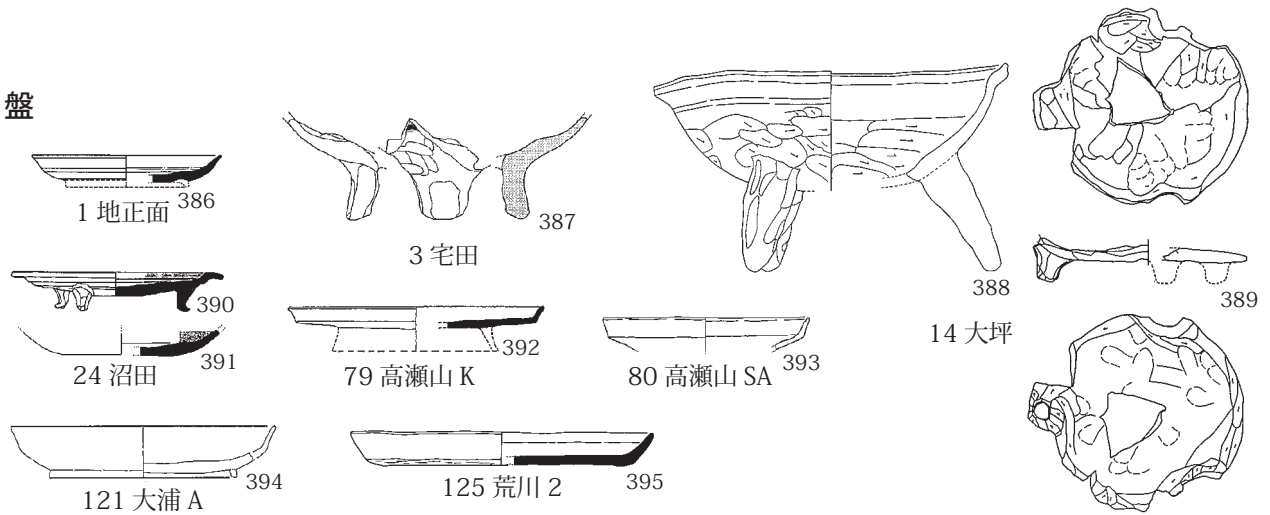
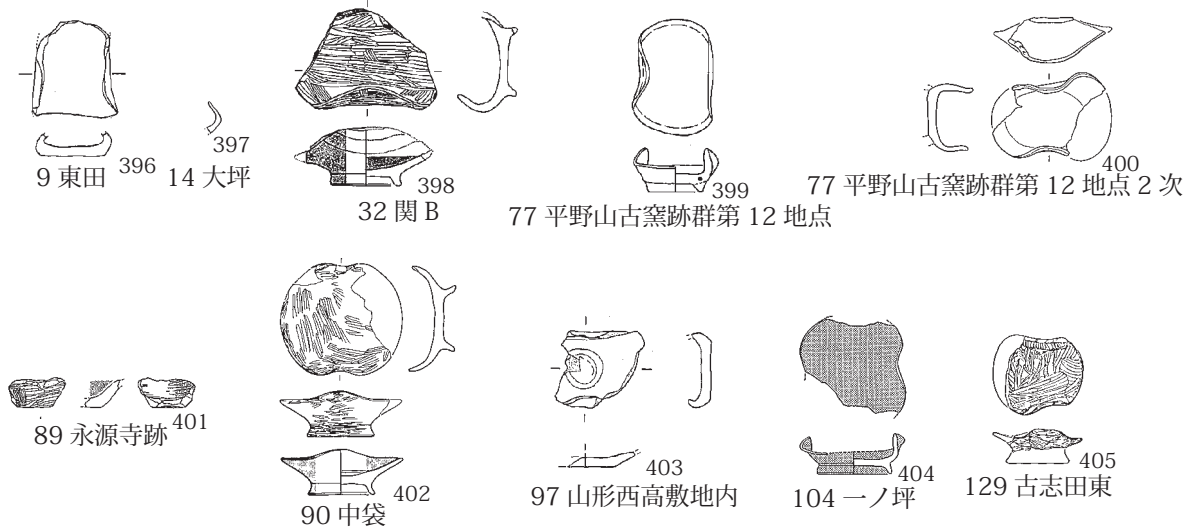


図7 遺物集成図(7)

盤



耳皿



托



その他

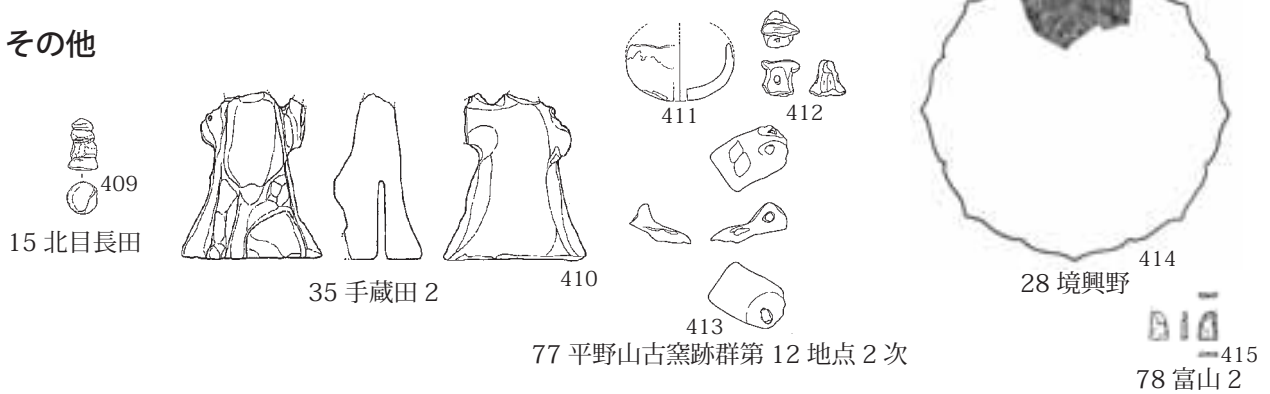


図 8 遺物集成図 (8)

表 仏教関連遺物一覧表

市町村	No.	遺跡名	時期	性格	文献	分類名	No.	挿図 番号	遺物 番号	種別 (報告書)	器種 (報告書)	遺構種別
遊佐町	1	地正面遺跡	8 C 末～9 C	集落	県51集1982	小型長頸壺 盤	184 386	10 8	36 2	土師器 須恵器	壺 台付皿	S X 11 S D 148 F
遊佐町	2	塚田遺跡	9 C 中	集落	県51集1982	小型短頸壺	259	18	4	土師器両黒	小型甕	366-122-Ⅱ
遊佐町	3	宅田遺跡	9 C～10 C 前	集落	県72集1983	盤	387	29	287	あかやき土器	鉢	27-22Ⅱ
遊佐町	4	吹浦遺跡	8 C 後半～10 C 前	集落	県82集1984 県120集1988	稜碗 稜碗	20 21	10 164	23 4	須恵器 須恵器	高台付坏 高台付坏	S T 4 Y P 6 5-96Ⅱ
遊佐町	5	下長橋遺跡	8 C 末～11 C 初	官衙	県119集1988 県145集1989	稜碗 小型長頸壺 香炉 香炉	22 185 334 335	44 42 50 50	3 421 595 596	須恵器 土師器 緑釉陶器 緑釉陶器	高台付坏 壺 香炉 香炉	S X 1105 39-7Ⅱ 34-11Ⅱ
遊佐町	7	小深田遺跡	8 C 末～10 C 前	官衙	県140集1989	小型長頸壺 小型品その他	186 323	29 29	208 198	須恵器 須恵器	壺 合子	30-54-Ⅲ 33-55-Ⅲ
遊佐町	9	東田遺跡	8 C 末～11 C 初	官衙	県165集1991	鉢形土器 鉢形土器 小型長頸壺 小型長頸壺 小型長頸壺 小型長頸壺 小型長頸壺 小型長頸壺 小型長頸壺 小型短頸壺 香炉 香炉 耳皿	1 2 187 188 189 190 191 192 193 260 336 337 396	53 54 32 45 52 34 54 39 54 45 34 54	719 765 53 386 695 108 760 239 761 385 99 768 757	黒色土器 黒色土器 須恵器 須恵器 赤焼土器 黒色土器 黒色土器 黒色土器 黒色土器 須恵器 赤焼土器 緑釉陶器 黒色土器	坏 鉢 壺 壺 壺 壺 壺 壺 壺 台付鉢 香炉 皿	21-26 S X 141 S D 67 S D 400 21-24 S D 54 S K 8014 38-43 21-23 S K 362 A 区 E B 363 18-30
遊佐町	11	木原遺跡	8 C 後半～9 C 後半	集落	県186集1993	小型長頸壺 小型長頸壺 小型品その他	194 195 324	22 24 20	8 7 19	須恵器 須恵器 須恵器	壺 壺	S X 977 E 半Ⅲ S K 837
遊佐町	12	筋田遺跡	8 C 後半～9 C 後半	集落	県187集1993	小型長頸壺 小型蓋	196 314	17 15	27 23	須恵器 須恵器	壺 蓋	S K 297 S G 19-2
遊佐町	14	大坪遺跡	8 C 末～10 C 前半	官衙	セ23集1995	小型長頸壺 小型長頸壺 小型短頸壺 小型短頸壺 盤 盤 耳皿	197 198 261 262 388 389 397	17 24 14 24 22 32 6	80 284 25 285 242 33 P 1	須恵器 土師器内黒 須恵器 土師器内黒 赤焼土器 赤焼土器 灰釉陶器	壺 壺 小壺 両黒壺 三脚鉢 不明 耳皿	S G 1～F-4 G 中 S G 1～F-4 G 上 S G 1～F-4 G 上 S G 1～F-4 G 中 S G 1～F-4 G 中 S G 1～F-11 G 中 S P 120
遊佐町	15	北日長田遺跡	8 C 後半～9 C 後半	集落	セ24集1995 セ31集1996 セ56集1998	小型長頸壺 小型短頸壺 小型長頸壺 小型長頸壺 香炉 高坏 稜碗 小型蓋 香炉 その他	199 325 200 201 338 371 23 315 339 409	23 23 18 15 15 15 24 25 32 32	19 4 86 1 2 3 193 207 310 309	須恵器 須恵器 須恵器 土師器 土師器 土師器 須恵器 須恵器 土製品 土製品	壺 鉢 小壺 小壺 高坏 鉢 稜碗 蓋 蓋 土塔	X-0 E-5 B-7Ⅲ S K 315 F 4 S D 50 T F S K 330 F 1 S G 702 F 3 S G 702 F 3 A-79Ⅲ A-93Ⅲ
遊佐町	16	堂田遺跡	9 C～10 C 初	集落	セ24集1995	壺 G	179	42	16	須恵器	壺	A-6
遊佐町	17	上高田遺跡	8 C 後半～10 C 後半	集落	セ25集1995 セ57集1998	小型長頸壺 鉢形土器 鉢形土器 小型短頸壺 小型品その他	202 3 4 263 326	9 35 35 34 18	14 424 425 418 126	黒色土器 須恵器 須恵器 須恵器 須恵器	壺 碗 碗 小壺 小甕	S G 1 S G 2 F 5 S G 2 F 9 S G 2 F 5 S G 1 F 1
遊佐町	18	宮ノ下遺跡	8 C 後半～9 C 後半	集落	セ32集1996	小型長頸壺 小型長頸壺 香炉	203 204 340	34 33 15	20 41 99	須恵器 須恵器 赤焼土器	壺 壺	A 区 X-O Q-8 G S D 73
八幡町	22	後田遺跡	8 C 末～10 C 初	官衙	県64集1983	香炉	341	22	198	青磁	香炉蓋	X-O
八幡町	24	沼田遺跡	8 C 末～10 C 初	官衙	県78集1984	小型短頸壺 盤 盤	274 390 391	40 40 41	342 346 366	須恵器 灰釉陶器 須恵器	壺 三脚盤 三脚盤?	105-98Ⅱ 111-97Ⅱ 103-61Ⅱ
酒田市	27	北田遺跡	9 C 中～10 C 前半	集落	県53集1982	小型長頸壺	205	14	19	須恵器	壺	S E 109
酒田市	28	境興野遺跡	8 C 末～11 C 前半	集落	県46集1981	その他	414	図版36	100	金属製品	瑞花鳳凰八稜鏡	第Ⅲ層上面
酒田市	29	上ノ田遺跡	8 C 後半～9 C 後半	集落	県52集1982	稜碗 小型短頸壺	24 264	19 22	57 82	須恵器 須恵器	坏 壺	S D 401 S D 401
酒田市	32	関 B 遺跡	8 C 末～10 C 初	集落	県68集1983	耳皿	398	18	51	土師器	耳皿	125-225-257 I
酒田市	33	新青渡遺跡	9 C	集落	県79集1984	小型長頸壺 小型長頸壺	206 207	21 21	62 63	須恵器 須恵器	壺 壺	S K 311 F 1・3 S K 311 + E B 400
酒田市	34	高阿弥田遺跡	8 C 後半～9 C 前半	集落	県86集1985	高坏	372	29	71	須恵器	高台付皿	S K 116 F
酒田市	35	手蔵田 2 遺跡	9 C 前半～10 C 初	集落	県86集1985	その他	410	34	204	土製品	人形	12-103 G
酒田市	36	手蔵田 5 遺跡	8 C 末～9 C 前半	官衙	県138集1989	小型短頸壺 小型短頸壺	265 266	19 19	87 88	須恵器 須恵器	壺 壺	S K 260 6-1-Ⅲ

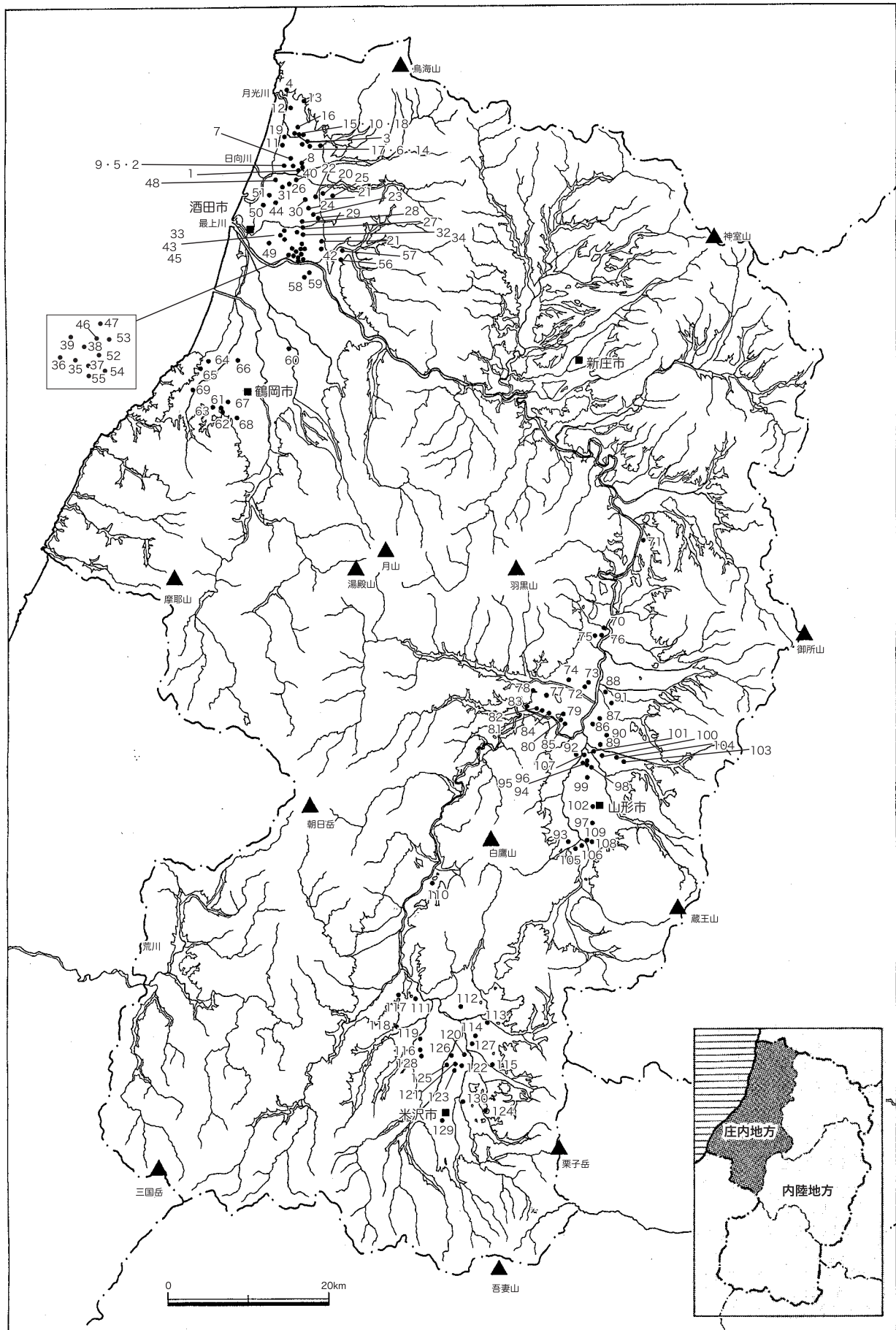
市町村	No.	遺跡名	時期	性格	文献	分類名	No.	挿図 番号	遺物 番号	種別 (報告書)	器種 (報告書)	遺構種別
酒田市	37	手蔵田6・7遺跡	8C末～9C中	集落	市1集1988	小型短頸壺	267	36	16	須恵器	鉢	S X 907
酒田市	39	手蔵田12遺跡	9C前半～10C中	集落	県87集1985	小型長頸壺	208	59	26	須恵器	壺	22-28Ⅱ
						小型短頸壺	268	59	25	須恵器	壺	25-26Ⅱ
酒田市	41	生石2遺跡	8C末～9C後半	官衙	県89集1985 県117集1987	小型長頸壺	209	19	109	須恵器	壺	S X 1 F 1
						稜枕	25	69	133	須恵器	高台坏	E B 404
						水瓶	165	70	183	須恵器	壺	18-4Ⅲ
						小型長頸壺	210	70	180	須恵器	壺	14-28、
						小型長頸壺	211	70	184	須恵器	壺	28-32, 32-32Ⅳ
						小型短頸壺	269	69	158	須恵器	壺	29-334Ⅳ
						小型短頸壺	270	69	159	須恵器	壺	24-16Ⅲ
酒田市	42	生石4遺跡	8C後半～9C後半	集落	県118集1987	小型短頸壺	271	14	115	須恵器	壺	3-10G
酒田市	43	南興野遺跡	8C末～10C	官衙	県114集1987	小型長頸壺	212	44	107	黒色土器	壺	S K 201
酒田市	44	上曽根遺跡	8C後半～9C後半	集落	県116集1987	小型長頸壺	213	20	15	須恵器	壺	90-41-Ⅳ
						小型長頸壺	214	20	19	須恵器	蓋	92-42-Ⅳ下
酒田市	45	熊野田遺跡	9C前半～10C初	官衙	県123集1988	小型長頸壺	215	28	65	須恵器	小型壺	S D 70 Y
						小型長頸壺	216	30	97	須恵器	小壺	S D 152 F
						小型長頸壺	217	38	189	須恵器	小型壺	76-30Ⅲ
						小型長頸壺	218	34	144	須恵器	壺	S J 24 F
					県146集1989	鉢形土器	5	11	21	赤焼土器	坏?	S E 1
						小型長頸壺	219	33	150	須恵器	壺	S D 5
						小型その他	327	26	71	赤焼土器	ミニチュア甕	S D 5
酒田市	48	向田遺跡	9C前半～10C前半	集落	セ34集1996	小型長頸壺	220	15	40	須恵器	壺	4-15Ⅲ
酒田市	49	土崎遺跡	9C前半～9C後半	集落	セ42集1996	小型長頸壺	221	17	111	須恵器	壺	S P 105
						小型長頸壺	222	17	112	須恵器	壺	S K 50
						小型長頸壺	223	17	113	須恵器	壺	S K 124
						小型長頸壺	224	17	114	須恵器	壺	6-7-Ⅱ
						小型短頸壺	272	17	109	須恵器	壺	S D 124
						小型その他	328	17	108	須恵器	甕	S D 124
酒田市	50	中谷地遺跡	8C末～9C後半	集落	セ42集1996	稜枕	27	109	98	須恵器	坏	4-8 G
						稜枕	26	109	97	須恵器	坏	S G 59
						小型長頸壺	225	110	118	土師器	壺	S G 2
						小型短頸壺	273	109	109	須恵器	坏	S G 59
酒田市	51	家際遺跡	8C末～9C後半	集落	県199集1998	小型長頸壺	226	87	28	須恵器	壺	試掘4
平田町	52	桜林興野遺跡	8C末～10C初	集落	県115集1987	水瓶	166	33	127	須恵器	注口	38-71 G
平田町	54	桜林遺跡	9C前半	集落	県126集1988	小型長頸壺	227	23	27	須恵器	壺	76-4-I
平田町	56	山海窯跡群	9C中～10C初	窯	県170集1991	鉢形土器	6	52	12	須恵器	無頸壺	S Q 1 ステ場
						小型長頸壺	228	32	20	赤焼土器	小型壺	B区トレンチ
						小型長頸壺	229	45	10	須恵器	壺	S Q 1
						小型長頸壺	230	74	11	須恵器	壺	S Q 14
						小型長頸壺	231	52	5	須恵器	壺	S Q 1 ステ場
						小型短頸壺	275	41	14	須恵器	壺	13-3 G
						小型短頸壺	276	62	8	須恵器	壺	S Q 3
						小型短頸壺	277	52	3	須恵器	壺	S Q 1 ステ場
						小型短頸壺	278	52	2	須恵器	壺	S Q 1 ステ場
						小型短頸壺	279	52	1	須恵器	壺	S Q 1 ステ場
						小型短頸壺	280	52	4	須恵器	壺	S Q 1 ステ場
						托	406	66	8	須恵器	托	S Q 3 ステ場
					県172集1992	水瓶	167	19	12	須恵器	壺	S Q 6 ステ場
						小型短頸壺	281	19	11	須恵器	壺	S Q 6 ステ場
					県183集1993	小型長頸壺	232	18	6	須恵器	小型壺	H区ステ場
平田町	57	山楯5遺跡	8C末～9C前半	窯	セ4集1994	水瓶	168	18	13	須恵器	壺	13-24Ⅱ
藤島町	60	平形遺跡	9C中～10C前半	集落	県26集1980	小型短頸壺	282	28	16	須恵器	壺	
						小型短頸壺	283	28	17	須恵器	壺	
鶴岡市	61	月記遺跡	9C前半～9C後半	集落	県148集1990	小型蓋	316	71	32	彩釉陶器	小壺蓋	
鶴岡市	65	西谷地遺跡	8C後半～10C前半	官衙	セ26集1995 セ33集1996	小型長頸壺	233	41	301	須恵器	壺	S D 69 E
						稜枕	28	43	13	須恵器	稜枕	B 粗掘
						稜枕	29	43	14	須恵器	稜枕	A 2面セイリ
						稜枕	30	38	20	土師器	稜枕	S K 900
						稜枕	31	38	19	土師器	稜枕	S K 900
						稜枕	32	38	21	土師器	稜枕	S K 900
						小型長頸壺?	234	41	4	土師器	双耳坏	S K 1906
						小型短頸壺	284	45	15	須恵器	壺	A 1面セイリ
鶴岡市	66	西ノ川遺跡	8C末～10C前半	集落	セ26集1995	小型長頸壺	235	54	50	須恵器	壺	B
鶴岡市	67	後田遺跡	8C末～10C前半	集落	セ49集1997	壺G	180	36	115	須恵器	壺	S G 271
鶴岡市	69	山田遺跡(I～K・M1区)			市21集2003	小型短頸壺?	285	39	172	須恵器	小壺	S G 5001 54-56
						小型短頸壺	286	42	273	須恵器	小型蓋	S G 5001 54-56
村山市	71	元木遺跡	8C末	集落	県197集1996	小型短頸壺	287	36	8	須恵器	短頸壺	
河北町	73	熊野台遺跡	8C前半～9C後半	集落	県31集1980	鉢形土器	7	22	R P 108	土師器	坏	第55号住居跡床面
河北町	74	不動木遺跡	8C前半～9C初	集落	県100集1986	稜枕	33	32	155	須恵器	高台付坏	S D 1
						稜枕	34	32	158	須恵器	高台付坏	S D 1
						稜枕	35	37	192	須恵器	高台付坏	80-40 G

市町村	No.	遺跡名	時期	性格	文献	分類名	No.	挿図 番号	遺物 番号	種別 (報告書)	器種 (報告書)	遺構種別
						小型長頸壺	236	19	14	須恵器	小型壺	S T 3
河北町	75	四ツ塚遺跡	8 C 後半～9 C 後半	集落	セ70集1999	稜椀	36	20	16	須恵器	稜椀	S K 858
寒河江市	77	平野山古窯跡群	8 C 後半～10 C 初	窯	市教委1970	小型長頸壺	242	27	19	須恵器	壺	第2号古窯跡
	77	平野山古窯跡群 第14地点遺跡		窯	市3集1984	水瓶	172			須恵器	壺	1・2号窯跡
寒河江市	77	平野山古窯跡群 第12地点遺跡		窯	県178集1992	鉢形土器	9	19	88	須恵器	甕	S T 14 E K 9
						水瓶	169	19	89	須恵器	壺	S T 14
						水瓶	170	24	160	須恵器	壺	E 区
						小型短頸壺	294	15	12	須恵器	壺	11-31Ⅲ
						小型短頸壺	295	16	24	須恵器	壺	S K 51
						香炉	342	25	173		不明	E 区
						耳皿	399	16	32	赤焼土器	耳皿	S G F 2
					セ52集1998	稜椀	37	67	17	須恵器	有台坏	灰原 P Q-30 IV上
						稜椀	38	67	18	須恵器	有台坏	灰原 P Q-30 IV上
						稜椀	39	67	19	須恵器	有台坏	灰原 P Q-30 IV
						稜椀	40	67	20	須恵器	有台坏	灰原 P Q-30 IV上
						稜椀	41	67	21	須恵器	有台坏	灰原 P Q-30 IV上
						稜椀	42	67	22	須恵器	有台坏	灰原 P Q-30 IV上
						稜椀	43	71	15	須恵器	有台坏	灰原 S G-30 IV
						水瓶	171	49	17	黒色土器	壺	灰原 H I-30②IV
						小型長頸壺	243	39	3	須恵器	壺	灰原 G G-29③・G-30④
						小型短頸壺	296	53	3	須恵器	小型甕	灰原 J I-30③IV
						小型短頸壺	297	57	10	土師器	小型甕	灰原 J I-30③IV
						小型蓋	317	62	11	須恵器	坏蓋	灰原 L L-30④IV上
						小型品その他	329	78	4	土師器	小型甕	S G 31 D-32 V上
						小型品その他	330	79	11	土師器	皿	S G 31 B-30 IV下
						小型品その他	331	80	12	土師器	壺	S G 31捨て場 E-34 F 4
						香炉	343	76	5	須恵器	鉢	S G 31 B-33 IV
						香炉	344	57	3	須恵器	高坏?	灰原 J J-30④IV下
						香炉	345	63	1	須恵器	高坏	灰原 L K-30③IV
						香炉	346	66	2	土師器	高坏?	灰原 M M-29③IV
						香炉	347	72	8	土師器	台付甕	S K 48
						香炉蓋	348	41	2	土師器	蓋	灰原 G G-30①IV
						香炉	349	78	3	土師器	台付甕	S G 31 B-32
						耳皿	400	41	3	土師器	耳皿	灰原 G G-30 IV
						その他	411	79	10	土製品	土鈴	S G 31 C-32 V上
						その他	412	58	2	土製品	土鈴?	灰原 J I-30③IV
						その他	413	79	12	土製品	土鈴	S G 31 E-30 V上
						高坏	416	52	19	須恵器	高坏	灰原 J I-30③IV
寒河江市	78	富山2遺跡	8 C 後半～10 C 初	集落	セ41集1996	鉢形土器	10	6	18	須恵器	壺	S T 38 F 4
						鉢形土器	11	19	16	須恵器	壺	J-29, K-30
						水瓶	173	7	9	原始灰軸陶器	水瓶	S T 38 Y
						小型長頸壺	244	19	7	土師器	椀	L-24
						香炉	352	6	17	須恵器	椀	S T 38-F 4
						香炉	353	19	4	赤焼土器	鉢	L-25
						高坏	384	19	15	土師器	高坏	L-27
						その他	415	19	18	金属製品	飾金具?	L-28
寒河江市	79	高瀬山K遺跡	7 C 後半～10 C 前半	集落	県158集1990	鉢形土器	8	56	3	須恵器	鉢	S D 11
						稜椀	44	43	22	須恵器	高台坏	S T 119
						稜椀	45	43	28	須恵器	高台坏	S T 119
						香炉	350	47	48	赤焼土器	脚台	S T 119
						高坏	373	40	1	土師器	高坏	S T 119
						高坏	374	62	14	須恵器	高坏	S X 499
						高坏	375	63	2	須恵器	脚付高台坏	10-81
						高坏	376	63	3	須恵器	脚付高台坏	10-81
						高坏	377	63	5	須恵器	高坏	14-78・79
						高坏	378	63	6	須恵器	高坏	11-82
						盤	392	43	27	須恵器	盤	S T 119
寒河江市	80	高瀬山遺跡(2期)	8 C 後半～10 C 初	集落	セ80集2001	稜椀	46	175(9)	1	須恵器	有台付坏	S T 2001 Y
						稜椀	47	202(36)	2	須恵器	有台付坏	S T 3008 F 2
						稜椀	48	196(30)	4	須恵器	有台付坏	S D 7070 (16-196 G)
						稜椀	49	202(36)	4	須恵器	有台付坏	S T 3008 F 1
						稜椀	50	199(33)	9	須恵器	有台付坏	S T 3004旧 Y
						小型長頸壺	237	168(2)	9	須恵器	壺	S T 168 E K 958 Y
						小型長頸壺	238	176(10)	8	須恵器	壺	S E 2136 F
						小型短頸壺	288	200(34)	14	須恵器	壺	S T 3004 Y
						香炉	351	201(35)	14	土師器	台坏鉢	S T 3004 F 2
寒河江市	80	高瀬山遺跡(SA)	8 C 後半～10 C 初	集落	セ94集2002	稜椀	51	168	3	須恵器	有台坏	S K 9876
						小型長頸壺	239	72	10	須恵器	壺	S T 9591
						小型短頸壺	289	116	5	須恵器	壺	S T 9874
						高坏	379	176	10	須恵器	高坏	A 区

市町村	No.	遺跡名	時期	性格	文献	分類名	No.	挿図 番号	遺物 番号	種別 (報告書)	器種 (報告書)	遺構種別
						高坏	380	168	6	土師器	高坏	S K9876
						高坏	381	176	9	須恵器	高坏	A区
						高坏	382	109	6	須恵器	脚付有台坏	S T9869
						盤	393	125	3	土師器	盤状坏	S T9962
寒河江市	81	高松Ⅱ遺跡	9 C 初	集落	セ61集1999	小型短頸壺	298	22	38	ミニチュア		S T25F 4
						小型品その他	332	22	39	ミニチュア		S T25F 5
寒河江市	82	高松Ⅲ遺跡	8 C 後半	集落	セ61集1999	稜碗	57	47	40	須恵器	稜碗	S X18F
寒河江市	83	木ノ沢楯跡	8 C 後半～9 C 後半	集落	セ62集1999	鉢形土器	12	36	5	須恵器	壺	4-12G
						鉢形土器	13	36	4	須恵器	壺	4-12G
						小型長頸壺	245	36	3	須恵器	壺	4-12G
						香炉	354	36	1	須恵器	壺	4-12G
						香炉	355	36	2	須恵器	壺	4-12G
						香炉	356	37	9	赤焼土器	甕	7-9G
						香炉	357	25	3	赤焼土器		S T151
						香炉	358	25	4	赤焼土器		S T151
寒河江市	84	落衣長者屋敷遺跡	9 C 前半	集落	セ79集2001	稜碗	58	79	400	須恵器	高台付坏	S E640
						稜碗	59	48	323	須恵器	高台付坏	S T3330E L 3
						香炉	359	48	334	須恵器	蓋	S T3330E K 4
寒河江市	85	三条遺跡	8 C 後半～10C 初	集落	セ93集2002	稜碗	52	272	3	須恵器	稜碗	S G323F 2
						稜碗	53	307	9	須恵器	稜碗	S G3001F・S D3004F
						稜碗	54	274	8	須恵器	稜碗	S G323F 1
						稜碗	55	307	12	須恵器	稜碗	S G3001F
						稜碗	56	309	3	須恵器	稜碗	S G3001F 4・5
						壺G	181	194	8	須恵器	壺	S D21F
						小型長頸壺	240	211	1	須恵器	壺	44-50G
						小型長頸壺	241	314	6	須恵器	壺	S G3001F
						小型短頸壺	290	196	17	須恵器	壺	S D777 (71-57G)
						小型短頸壺	291	314	5	須恵器	壺	S G3001F 1・2
						小型短頸壺	292	245	3	須恵器	鉢	S G134F
						小型短頸壺	293	245	4	須恵器	鉢	S G134Y
						小型蓋	318	319	16	須恵器	蓋	S G8602F
						高坏	383	285	3	須恵器	高坏	S G323F
天童市	87	押切遺跡	9 C	集落	セ13集1994	小型品その他	333	14	22	土師器	把手付碗	S G200F 1
天童市	89	永源寺跡遺跡	8 C 後半～10C 初	集落	セ86集2001	稜碗	61	58	259	須恵器	高台付坏	S K782
						小型長頸壺	246	21	88	須恵器	壺	S T201F 2
						耳皿	401	66	362	土師器	耳皿?	S B600 (E B603)
天童市	90	中袋遺跡	9 C 中～10C 初	集落	セ97集2002	小型長頸壺	247	50	15	須恵器	壺	F-18
						小型短頸壺	299	37	19	土師器	壺	S X382
						香炉	360	34	5	土師器	壺	S K14
						耳皿	402	40	13	黒色土器	耳皿	S K229
						托	407	28	19	黒色土器	段皿	S D5
中山町	92	達磨寺遺跡	8 C 後半～10C 初	官衙	県104集1986	香炉	361	39	25	赤焼土器	蓋	S T76F
						稜碗	60	55	186	須恵器	高台付坏	X-O
山形市	93	二位田遺跡	9 C 前半	集落	県6集1976	小型蓋	319	11	1	須恵器	蓋	
山形市	96	境田D遺跡	9 C～10C 前半	集落	県76集1984	小型長頸壺	248	63	162	須恵器	壺	S D1F9・10
山形市	97	山形西高敷地内遺跡	8 C 前半～10C 初	集落	県91集1985	小型長頸壺	249	16	64	須恵器	壺	S T5
					県173集1992	小型長頸壺	250	18	53	須恵器	壺	S T18F
						小型短頸壺	273	109	109	須恵器	壺	S G59
						小型蓋	320	16	1	須恵器	蓋	S T1Y
						耳皿	403	18	49	赤焼土器	耳皿	S T3-E L53
山形市	100	梅ノ木遺跡	9 C	集落	県199集1998	小型長頸壺	251	図版58		須恵器	壺	
山形市	102	城南一丁目遺跡	7 C 末～10C 初	集落	セ69集1999	小型短頸壺	300	69	182	須恵器	短頸壺	S T1276
						小型短頸壺	301	75	276	須恵器	壺	S P157
山形市	104	一ノ坪遺跡	8 C 前半～10C 初	集落	市12集2001	耳皿	404	91	204	土師器	耳皿	S K31
山形市	105	谷柏J遺跡	8 C 末～9 C 中	集落	セ95集2002	小型短頸壺	302	26	80	須恵器	瓶	X-0
山形市	106	山形元屋敷遺跡	8 C 末～10C 初	集落	セ109集2002	水瓶	174	29	182	須恵器	水瓶	S G1 16-25G 上層
山形市	109	吉原Ⅲ遺跡	8 C 後半～9 C 前半	集落	市11集2001	稜碗	62	24	92	須恵器	高台付坏	S G (17-12)
						稜碗	63	24	90	須恵器	坏	S G (16-11)
白鷹町	110	廻り屋遺跡	8 C 後半～10C 前半	集落	セ27集1995	小型蓋	321	21	18	須恵器	蓋	S T15Y
南陽市	112	富貴田遺跡	8 C 後半～9 C 中	集落	県110集1987	小型短頸壺	322	18	1	須恵器	蓋	12-21G
高畠町	113	安久津古墳群	8 C	集落	県180集1992	稜碗	69	6	7	須恵器	高台坏	S D1F
						稜碗	70	6	8	須恵器	高台坏	S D1F
高畠町	114	合津窯跡	8 C 後半	窯	町5集1997	稜碗	64	図版3	10	須恵器	稜碗	
高畠町	115	新太夫遺跡	7 C 末～9 C 前半	集落	町9集2000	鉢形土器	14	7	4	土師器内黒	埴	5号河川跡
						鉢形土器	15	7	8	土師器内黒	鉢	5号河川跡
						鉢形土器	16	27	11	土師器内黒	高坏	14号河川跡
						稜碗	65	5	17	須恵器	稜碗	5号河川跡
						稜碗	66	5	18	須恵器	高台坏	5号河川跡
						稜碗	67	5	19	須恵器	高台坏	5号河川跡
						稜碗	68	46	15	須恵器	高台坏	14号河川跡内土坑
川西町	116	壇山第1号窯跡	8 C 後半	窯	寒河江市教委1970	鉢形土器	17	44	8	須恵器	鉢	壇山第1号窯跡

市町村	No.	遺跡名	時期	性格	文献	分類名	No.	挿図 番号	遺物 番号	種別 (報告書)	器種 (報告書)	遺構種別
						稜碗	71	44	6	須恵器	稜碗	壇山第1号窯跡
						稜碗	72	44	7	須恵器	稜碗	壇山第1号窯跡
川西町	117	道伝遺跡	8 C 後半～10 C 前半	官衙	町2集1981	稜碗	73	13	8	須恵器	稜碗	S D 1 5層下面
						稜碗	74	13	9	須恵器	稜碗	S D 1 5層下面
						稜碗	75	13	10	須恵器	稜碗	S D 1 5層下面
					町8集1984	小型長頸壺	253	16	64	須恵器	壺	S D 1 2層
						稜碗	76	17	R P 407	須恵器	坏	S D 35 F 6
						稜碗	77	15	R P 323	須恵器	坏	S D 35 F 6
						稜碗	78	22	R P 150	赤焼土器	坏	S D 1 F・
						小型長頸壺	252	16	R P 251	須恵器	壺	S D 35 F 6
						小型短頸壺	303	21	R P 1	須恵器	壺	G 20-43Ⅲ上
						小型短頸壺	304	12	R P 332	須恵器	壺	S D 35 F 12
川西町	118	カノウ壺遺跡	9 C 初	集落	県198集1997	稜碗	79	42	1	須恵器	高台坏	S T 1 F 2
川西町	119	太夫小屋1遺跡	8 C 末～9 C 後半	官衙	セ81集2001	稜碗	80	93	14	須恵器	稜碗	S X 944
						稜碗	81	93	15	須恵器	高台付坏	S X 944
						稜碗	82	93	16	須恵器	稜碗	S X 944
						稜碗	83	94	1	須恵器	稜碗	S X 944
						稜碗	84	94	2	須恵器	稜碗	S X 944
						稜碗	85	94	3	須恵器	稜碗	S X 944
						稜碗	86	94	4	須恵器	高台付坏	S X 944
						稜碗	87	94	5	須恵器	稜碗	S X 944
						稜碗	88	96	14	須恵器	高台付坏	S D 147
						稜碗	89	96	15	須恵器	高台付坏	S D 147
						稜碗	90	100	1	須恵器	稜碗	S D 697
						稜碗	91	106	22	須恵器	高台付坏	S D 64
						稜碗	92	107	3	須恵器	稜碗	S D 64
						稜碗	93	111	17	須恵器	高台付坏	S T 718
						稜碗	94	112	16	須恵器	稜碗	S T 716
						稜碗	95	125	11	須恵器	高台付坏	J-12
						稜碗	96	113	13	須恵器	稜碗	S X 1001
						稜碗	97	131	6	須恵器	稜碗	G-21
						稜碗	98	116	19	須恵器	稜碗	S K 233
						稜碗	99	117	1	須恵器	稜碗	S K 187
						稜碗	100	118	8	須恵器	稜碗	S K 862
						水瓶	175	133	19	灰釉陶器	長頸瓶	F-20
						水瓶	176	133	20	灰釉陶器	長頸瓶	G-17
						水瓶	177	87	18	須恵器	浄瓶	S X 250
						水瓶	178	83	6	黒色土器	壺	S X 250
						壺 G	182	132	9	須恵器	壺	G-19
						壺 G	183	132	14	須恵器	壺	F・D-21
						小型長頸壺	254	94	12	須恵器	壺	S X 944
						小型短頸壺	305	138	15	須恵器	壺	北-西
						小型短頸壺	306	141	6	須恵器	壺	南-西
						小型短頸壺	307	118	11	須恵器	壺	S K 875
						小型短頸壺	308	141	7	須恵器	壺?	南-西
						香炉	362	64	15	土師器	蓋	S T 400
						香炉	363	84	15	土師器	香炉蓋	S X 250
						香炉	364	142	5	黒色土器	香炉蓋	北-東
						香炉	365	142	4	土師器	香炉蓋	北-東
						香炉	366	103	7	土師器	香炉蓋	S D 749
						香炉	367	108	7	土師器	火舎蓋	S D 83 S K 69
						香炉	368	136	14	土師器	台付鉢	北-西
						香炉	369	85	8	土師器	台付鉢	S X 250
						香炉	370	145	4	土師器	台付鉢脚	北-東 7
						高坏	385	110	4	須恵器	高坏	S T 718・973
						托	408	137	18	須恵器	托	北-西
米沢市	121	大浦A遺跡	8 C 後半～9 C 後半	官衙	市18集1987 市59集1998	稜碗	101	20	36	須恵器	高台坏	F Y 1
						盤	394	11	28	須恵器	盤	不明
米沢市	122	大浦B遺跡	8 C 後半～9 C 後半	官衙	市29集1991	鉢形土器	18	8	7	土師器	坏	H Y 257
						稜碗	102	9	13	須恵器	稜碗	A Z 4
						稜碗	103	9	14	須恵器	稜碗	A Z 32・D Y 147
						稜碗	104	9	15	須恵器	稜碗	A Z 37・A N 3
						稜碗	105	9	16	須恵器	稜碗	A Z 17・K Y 18
					市361993	稜碗	106	54	62	須恵器	高台坏	D Y 481
						稜碗	107	54	63	須恵器	高台坏	D Y 145
						稜碗	108	54	64	須恵器	高台坏	D Y 339
						稜碗	109	54	65	須恵器	高台坏	K Y 18
						稜碗	110	55	66	須恵器	高台坏	D Y 167
						稜碗	111	55	67	須恵器	高台坏	D Y 147
						稜碗	112	55	68	須恵器	高台坏	A N 3
						稜碗	113	55	69	須恵器	高台坏	K Y 18

市町村	No.	遺跡名	時期	性格	文献	分類名	No.	挿図 番号	遺物 番号	種別 (報告書)	器種 (報告書)	遺構種別
米沢市	123	大浦C遺跡	8C後半～9C後半	官衙	市67集2000	稜碗	114	55	70	須恵器	高台坏	K Y 18
						稜碗	115	55	71	須恵器	高台坏	A N 1
						稜碗	116	55	72	須恵器	高台坏	D Y 147
						稜碗	117	55	73	須恵器	高台坏	K Y 18
						稜碗	118	55	79	須恵器	高台坏	A Z 2
						稜碗	119	20	36	須恵器	稜碗	A N 5
						稜碗	120	19	27	須恵器	稜碗	A N 5
						稜碗	121	19	28	須恵器	稜碗	A N 5
						稜碗	122	19	29	須恵器	稜碗	G 112-129
						稜碗	123	19	30	須恵器	稜碗	A N 5
						稜碗	124	20	35	須恵器	稜碗	A N 5
						稜碗	125	19	31	須恵器	稜碗	A N 6
						稜碗	126	19	32	須恵器	稜碗	A N 7
						稜碗	127	20	33	須恵器	稜碗	A N 5
						稜碗	128	20	34	須恵器	稜碗	A N 5
						小型短頸壺	309	20	37	須恵器	小型広口壺	G 114-117
						小型短頸壺	310	20	38	須恵器	小型壺	K Y 745
米沢市	123	大浦C遺跡	8C後半～9C後半	官衙	市33集1992	稜碗	129	17	20	須恵器	坏	A Z 6
米沢市	125	荒川2遺跡	7C末～10C前半	集落	セ43集1997	稜碗	130	10	3	須恵器	高台付坏	S E 73
						稜碗	131	10	4	須恵器	高台付坏	S E 73
						稜碗	132	13	43	須恵器	高台付坏	S G 21 F 1
						稜碗	133	13	46	須恵器	高台付坏	S G 21 F 2
						稜碗	134	13	45	須恵器	高台付坏	S G 21 F 1
						稜碗	135	13	47	須恵器	高台付坏	S G 21 F 1
						稜碗	136	13	44	須恵器	高台付坏	S G 21 F 1
						稜碗	137	13	48	須恵器	高台付坏	S G 21 F 1
						稜碗	138	11	21	須恵器	高台付坏	S K 103
						盤	395	17	65	須恵器	盤	S G 435 F 6
米沢市	126	西町田下遺跡	8世紀中葉～末葉	官衙	セ44集1997	鉢形土器	19	51	25	須恵器	碗	N-17
						稜碗	139	35	5	須恵器	稜碗	S T 1745床面
						稜碗	140	37	10	須恵器	稜碗	S D 1505
						稜碗	141	44	13	須恵器	稜碗	S G 1. 2 T 3
						稜碗	142	44	15	須恵器	稜碗	S G 1. 2 T 3
						稜碗	143	44	16	須恵器	稜碗	S G 1. 2 T 3
						稜碗	144	44	20	須恵器	稜碗	S G 1. 2 T 3
						稜碗	145	50	21	須恵器	稜碗	S K 1757
						稜碗	146	44	17	須恵器	稜碗	S G 1. 2 T 3
						稜碗	147	44	18	須恵器	稜碗	S G 1. 2 T 3
						稜碗	148	44	19	須恵器	稜碗	S G 1. 2 T 3
						稜碗	149	51	7	須恵器	稜碗	S X 1917-1920
						稜碗	150	49	8	須恵器	稜碗	S G 1. 2 T 4
						稜碗	151	51	29	須恵器	稜碗	N-11
						小型長頸壺	255	34	13	須恵器	壺	S T 1195床面
米沢市	127	金ヶ崎A遺跡	9C	集落	市56集1997	小型長頸壺	256	19	35	須恵器	壺	不明
米沢市	128	大神窯跡	8C後半～9C前半	窯	市57集1998	稜碗	152	12	37	須恵器	稜碗	灰原
						稜碗	153	15	62	須恵器	稜碗	B N 2-2
						稜碗	154	18	79	須恵器	稜碗	B N 2-2
						稜碗	155	13	39	須恵器	稜碗	B N 2-2
						稜碗	156	16	66	須恵器	稜碗	B N 2-3
						稜碗	157	19	90	須恵器	稜碗	B N 2-2
						稜碗	158	15	55	須恵器	稜碗	B N 2-2
						稜碗	159	17	78	須恵器	稜碗	B N 2-2
						稜碗	160	22	122	須恵器	稜碗	灰原
						稜碗	161	13	44	須恵器	稜碗	B N 2-2
						稜碗	162	22	119	須恵器	稜碗	B N 2-2・3
						稜碗	163	21	104	須恵器	稜碗	灰原
						稜碗	164	17	72	須恵器	稜碗	B N 2-2・3
米沢市	129	古志田東遺跡	9C～10C前半	集落	市73集2001	小型長頸壺	257	62	2	須恵器	壺	K Y 1-D
						小型短頸壺	311	62	3	須恵器	壺	K Y 1-B
						小型蓋	314	15	23	須恵器	蓋	S G 19-2
						耳皿	405	33	11	両黒土師器	耳型土器	K Y 1-B
米沢市	130	馳上遺跡	7C末～9C後半	集落	セ101集2002	小型長頸壺	258	102	10	須恵器	壺	S D 1639 F 1
						小型短頸壺	312	11	5	須恵器	壺	S T 210 Y
						小型短頸壺	313	86	12	須恵器	壺	S G 1155 F 3
米沢市	131	笹原遺跡	8C中葉～9C後半	集落	市7集1981	稜碗	417	35	10	須恵器	高台坏	S T 1
						稜碗	418	36	24	両黒土師器	高台坏	S T 1
						水瓶	419	41	61	須恵器	水瓶	S T 8
						香炉	420	41	65	土師器	高坏	S T 9
						高坏	421	54	231	土師器	高坏	20-64 G II



No.は、表に対応する

図9 信仰関連遺物出土遺跡分布図（高桑ほか2003）



図 10 太夫小屋 1 遺跡遺構配置位置図

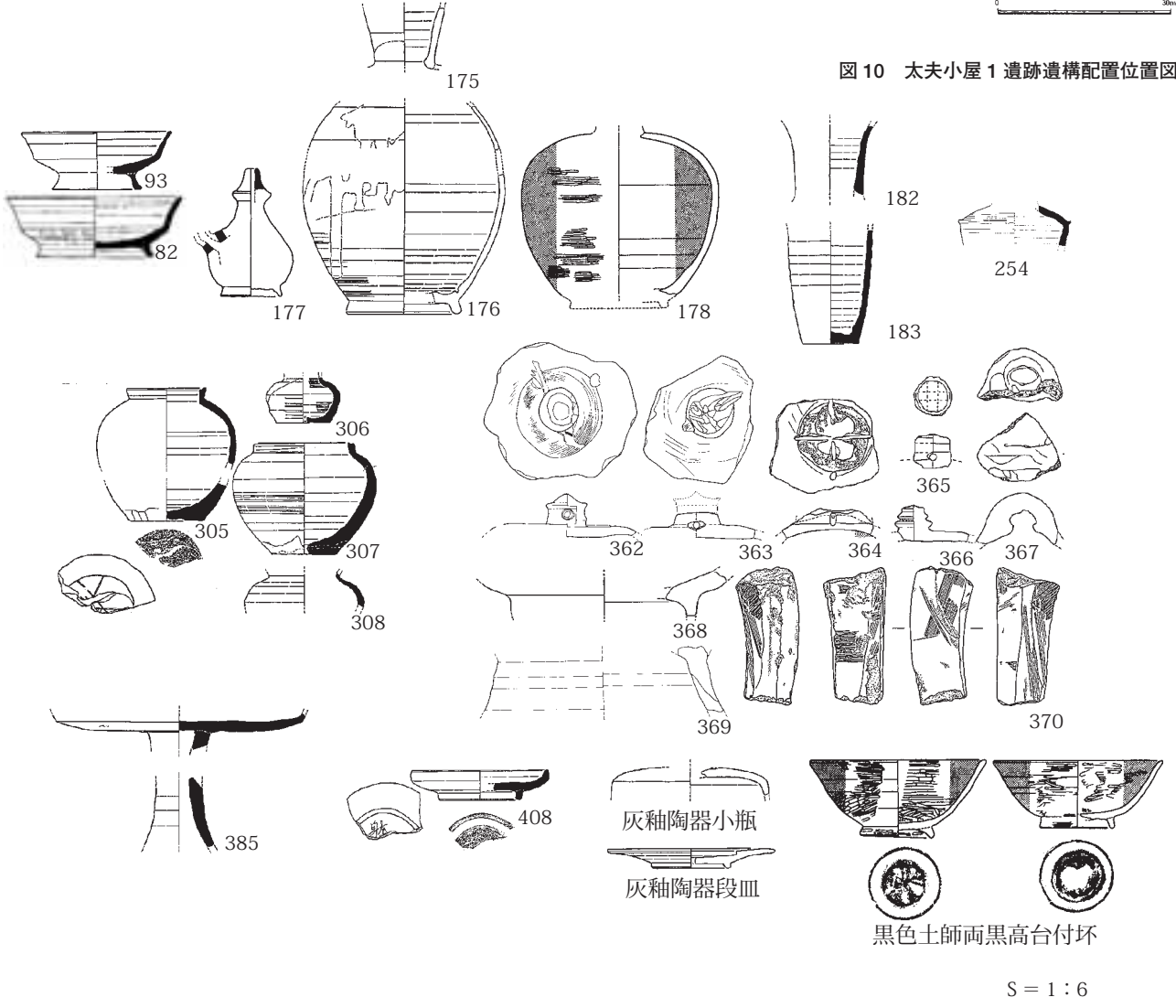


図 11 太夫小屋 1 遺跡仏教関連遺物

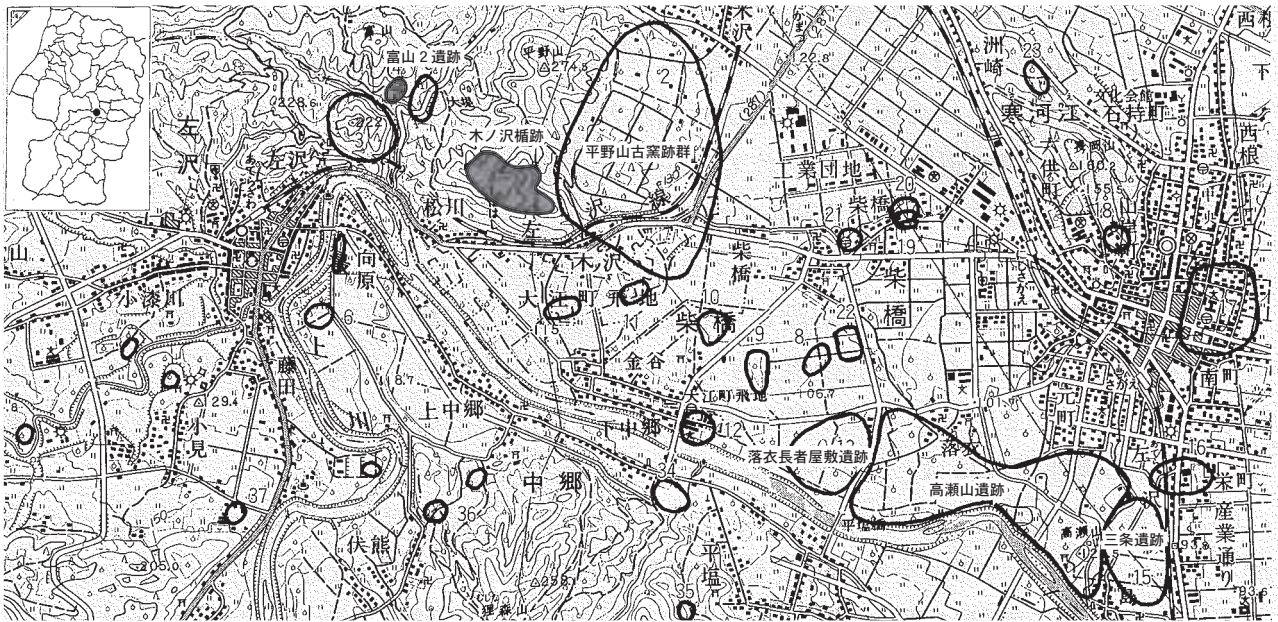


図 12 富山 2 遺跡・木ノ沢橋跡位置図 (S = 1 : 50,000)

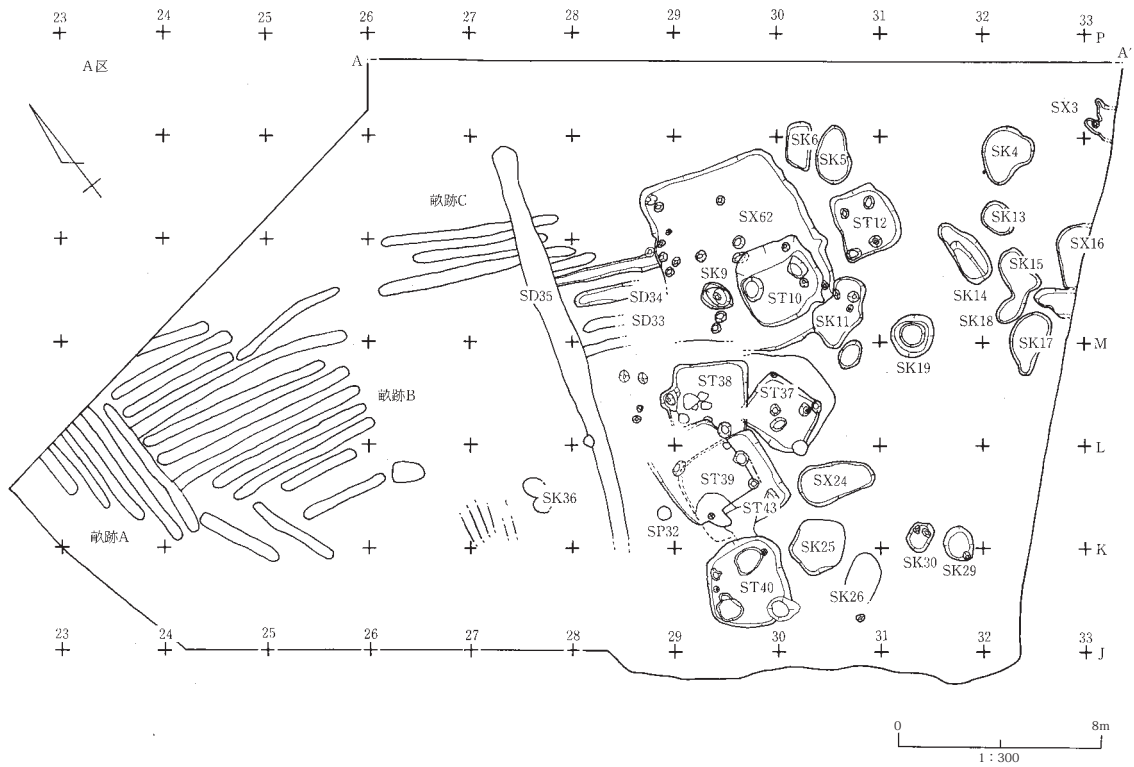


図 13 富山 2 遺跡遺構配置図

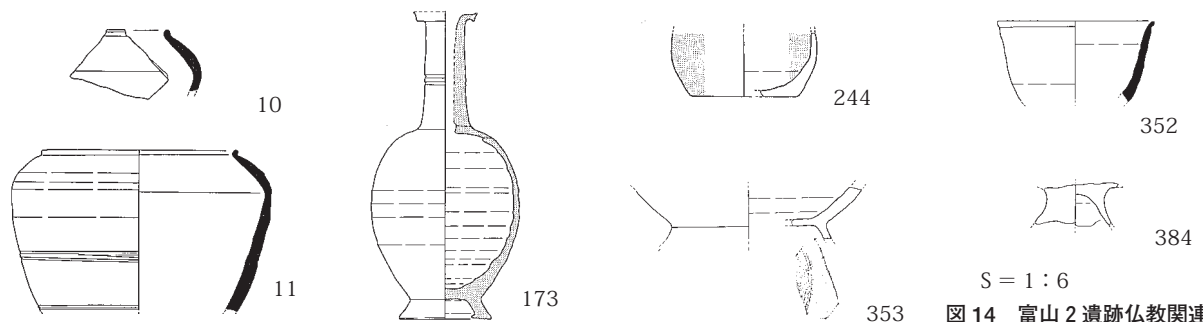


図 14 富山 2 遺跡仏教関連遺物



図 15 木ノ沢楯跡遺構配置図

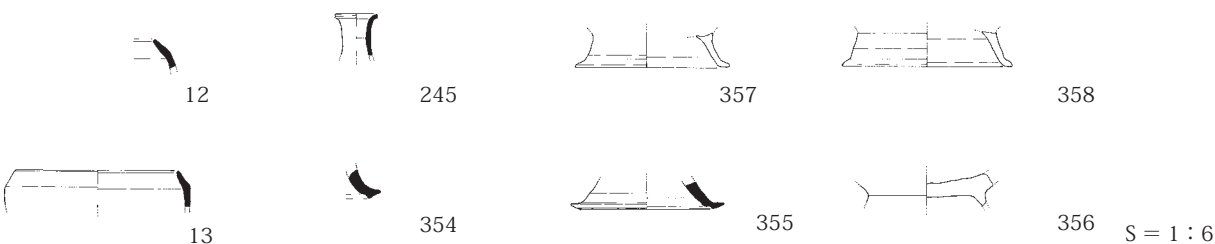


図 16 木ノ沢楯跡仏教関連遺物